

Enterprises with
High Growth potential

GUIDE

GOING FORWARD.

宮崎県成長期待企業ガイド



宮崎県成長期待企業

宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局

〒880-0811 宮崎市錦町1番10号 KITENビル7F
TEL 0985-77-5563 FAX 0985-77-5564
E-mail kigyoseicho@i-port.or.jp

<https://www.i-port.or.jp/platform/>



GOING FORWARD.

宮崎県成長期待企業ガイド

Enterprises with
High Growth potential **GUIDE**

01	株式会社 池上鉄工所	02	17	株式会社 新原産業	34
02	株式会社 井崎製作所	04	18	日本情報クリエイト株式会社	36
03	株式会社 一平ホールディングス	06	19	ネオフーズ竹森株式会社	38
04	株式会社 英楽	08	20	株式会社 日向屋	40
05	株式会社 オファサポート	10	21	マイクロエース株式会社	42
06	株式会社 九建	12	22	ミツワハガネ株式会社	44
07	株式会社 くしまアオイファーム	14	23	宮崎ひでじビール株式会社	46
08	株式会社 コア・クリエイトシステム	16	24	株式会社 宮防	48
09	株式会社 サニー・シーリング	18	25	株式会社 モリタ	50
10	株式会社 システム技研	20	26	森山工業株式会社	52
11	株式会社 修電舎	22	27	ヤマエ食品工業株式会社	54
12	株式会社 新海屋	24	28	株式会社 山崎産業	56
13	株式会社 SHINGAKI	26	29	大和フロンティア株式会社	58
14	株式会社 SUNAO 製菓	28	30	吉田産業株式会社	60
15	スパークジャパン株式会社	30	31	株式会社 ワン・ステップ	62
16	株式会社 高嶺木材	32			



広大な敷地の中に佇む工場の一部内観



タンク製作



溶接技術は全国トップクラス!!

ココがスゴイ! POINT

2 point 尖ってる WEBサイト

2020年、斬新かつ「尖ってるWEBサイト & パンプ」を作成。技術面を前面に出したウェブサイトや採用ページも開設。取りあえず、1度HPを見てください。



職人技の半分は、イメージーションに置かれている。尖ってるWEBサイト



まだまだ
分からないから
おもしろい

1
point

全国2位の 溶接技術

全国から各県の厳しい予選を勝ち抜いたスゴ腕の溶接技術を競う大会で、2015年度は全国2位、2019年度は全国4位とトップクラス。

3
point

売上・利益増加中 売上 140% 利益 300%

成長期待企業認定以降、
売上げ140%、
利益300%増加!

01

モノづくりを極めた
プロフェッショナル集団!!



職人技が光る「溶接アート」



“モノづくり業界”を変革させ、

日本を発展させる

受け継ぐだけじゃ先にいけない
「考える技術企業」として、進化し続ける



「脈々と受け継がれてきたものは「技術」だけじゃない。 職人たちが持つ内から伝わる「想い」を継承してほしい。」

仕事や技術を身に付けるための仕組みがあり、教えてくれる先輩がたくさんいます。IKEGAMIは「みんなの力で発展する」ことを目指す会社です。臨機応変な現場対応力、考え抜く強さ、柔軟性。今日できなかったことが明日できるようになっていく。先輩たちはその成長を見守ってくれます。

70年以上の歴史を超え、IKEGAMIは百年企業に向けて走り出しています。新しい時代をつくるのは、新しい感性をもった技術者たちです。先輩の優れた部分を学びながら、自分なりの職人像を切り拓いてほしい。私たちと一緒により良い会社を創っていきましょう。

専務取締役

松田 拓也

Matsuda Takuya

1980年生まれ [延岡市出身]

専務取締役に就任以降、百年企業に向けて経営改革中。2020年に始めたTwitterは毎日ツイートを発信。裏表のない率直な言葉にフォロワー増加中。企業カラーの「紫色」のネクタイを常に身に付けている。



「お客さまの要望に答える「最高品質」を生み出すための「モノづくり」技術や魅力を磨いて、新たなテクノロジーを活用し継承し続ける

高さ4m、6000リットルのタンク6基を設計・製作シクラフトビル工場へ納品、コンパクトユニットの製作、オーダーメイドの産業機械の設計・製作など、多様なお客様の要望に応えてきた同社。

製缶・溶接・機械・仕上げ、工事・配管、メンテナンスを一貫して手掛け、熟練された技術と各部門の「妥協しないチームワーク」によって、顧客ニーズと誠実に向き合っています。

「IKEGAMI」は、工業の町・延岡で、70年以上モノづくりをしてきた会社です。「ゼロからカタチを創り出します。使う現場をイメージし、まだ見ぬモノを具現化しようとする心意気、緻密に計算された工程や技術の設計力、どんな状況でも冷静に対応する柔軟な発想力を大切にする「考える技術企業」です。職人たちがこれまで支えてきた「クラフトマンシップ」は、強みであり、次世代へ継承される日本の資産となっています。そして、これを若手エンジニアたちの魅力あるスキルにするべく、「職人の勘」や「経験」までも（見える化）し、付加価値の高いノウハウとして繋いでいきます」と、松田専務は語ります。



女性溶接工の誕生!先輩の丁寧な指導で技術を受け継ぎます

また、一方では新たなテクノロジーを取り入れながら幅を広げ、人の力を存分に活かすための高効率化や仕組みづくりを積極的に進めています。中でも、新たな試みとして企業や採用のブランディング、組織の再構築など抜本的な改革に取り組んでいます。企業理念や工場紹介、施工事例や採用情報など、見せ方にこだわった斬新なデザインの企業ホームページもその一つです。

働く全員が安心して成長できる環境にするべく、評価システムや体制の構築、採用活動、人材育成にも変革をもたらし、進化し続けます。

DATA

01 株式会社 池上鉄工所

[業種] 生産用機械器具製造業

〒882-0024 延岡市大武町39-6 (延岡鉄工団地内)
TEL.0982-34-3211 FAX.0982-35-4859

代表: 代表取締役社長 松田 清
資本金: 7,690万円
社員数: 47人(2020年9月末現在)
創業年: 1946年



<https://www.ikegamitekko.co.jp/>



Voice!

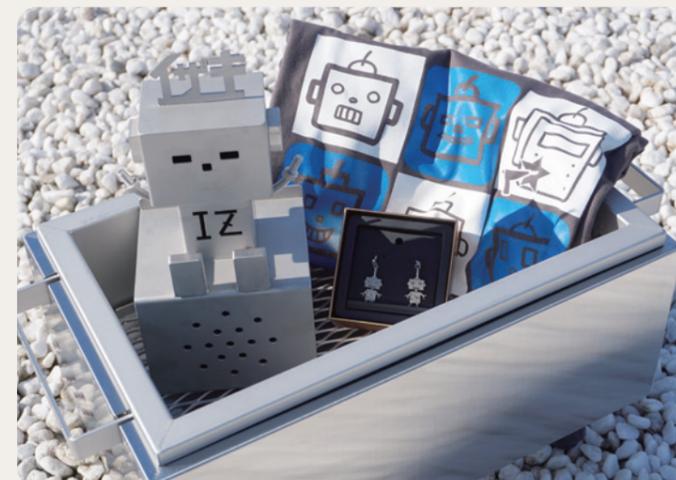
仕事をしていれば悩むときもあります。相談できる人がいるってことが、幸せなんです。ここにはそういう先輩達がいる。人に恵まれていると思います。



工事・配管グループ

ゼロから生みだし 満足いく形で納品

設計から完成まで一貫した自社加工で、
小ロット、多品種、多様な工程等の
難しい要望にも柔軟に対応



同社マスコットキャラクター「イザロボくん」



設計から完成まで自社一貫加工



少量多品種、様々な業種で実績あり

02

頼まれたら何でもやるのがモットー
オンリーワンの製品をお客様へ

精密板金、製缶加工を主とした各種金属製品を受注生産する井崎製作所。精密切断、曲げ、機械加工、各種溶接、塗装、組立、検査など、設計から完成までの自社一貫加工を強みとしています。

昭和45年、地域の農機具修理を主に創業した同社は、その後、産業機械、設備、建設、食品、農畜水産業と、さまざまな業界の顧客を増やしてきました。その中で蓄積されてきた技術とノウハウを生かして、精密部品から消防車まで、ジャンルにとらわれないものづくりを行っています。

そんな同社が経営方針として掲げているのが、「付加価値のあるオンリーワンの製品を顧客へ提供すること。そのために、他社が二の足を踏むようなどんな案件にも積極的にチャレンジしています。

「頼まれたら何でもやるのが当社のモットーです。必要な時に、必要な数だけ、ご満足いただく形で提供する。簡単なことではありませんが、不可能を可能にしてお客様に喜んでもらうことは、自身の成長にもつながるんです。当社の製品には、お客様への製作者の思いが詰まっていますよ」と井崎社長。

確かな技術と提案力で実績を積み重ね

ることで、広く県外からの受注も増えているのだといいます。

「おかげさまで口コミによってお客様が増え、関西・中部・関東エリアからも仕事をいただくようになりました。県外からの受注が拡大すれば、多くの外貨を獲得することができます。そうすれば宮崎の地域経済循環にも貢献できます。」

近年は、従来の受注生産に加えて、自社商品の開発にも力を入れている同社。新たな販路を開拓するなど、社員みんなのものづくりを楽しめる職場づくりを進めています。



高い技術力でジャンルにとらわれない

ココがスゴイ! POINT

1
point

付加価値のある オンリーワン製品を

安定した良いものを提供できるようISO9001（品質マネジメントシステム）も取得し、品質改善に力を入れています。今年ISO14001（環境）を取得するなど、無駄を減らしコストへ反映できるよう取り組んでおり、3D設計による提案力向上にも力を入れています。

2
point

オリジナル製品の 開発

製作したい商品アイデアがあれば、実現できる環境があります。社員の意見を取り入れ、みんなでアイデアを出し合いながらものづくりを行っています。

3
point

頼まれたら何でもやる 個人や企業 どんなお客様にも対応

法人のお客様だけでなく、個人のお客様も大切にする会社。業務内容が異なっても、困っているお客様がいたら、小ロット、多品種などどんな要望にも柔軟に対応します。



社員が共に考え、学び合う風土



有資格者も多数

当社の採用方針

未経験者でも、一から教育していきますので、ものづくりに興味があり、やる気があれば歓迎します。

○業務内容：CAD・CAMを使用した設計・設計支援・製造管理業務、機械加工や溶接、組立等の技術者等

「良い“ものづくり”を目指し、共に成長する」

当社は、お客様本位の製品が実現できるよう日々、改善・改良を積み重ね、個々のスキル向上を行い、切磋琢磨して製品をつくりあげています。近年ではマスコットキャラクター「イザロボくん」が誕生するなど、遊びどころも大切にしながら、様々な分野にもチャレンジしています。

社員が共に考え、協力し合い、日々成長を感じることができる、そんな会社づくりを目指しています。

また、次の世代へバトンをつないでいくことも、私の使命であると考えています。

スキルアップしたいという強い気持ちで、努力することを怠らず、あきらめることをしなければ、技術や経験が無くても必ず活躍できると思います。社員や地域のみならず、楽しくいきいきとものづくりができる、そんな宮崎県の中核企業になれるよう成長し続けます。



取締役社長

井崎 貴盛

Izaki Takamori

1979年生まれ [新富町出身]

趣味 家族サービス
座右の銘 「有言実行」



製造部 加工組立課1係



九州の素材を使った「九パン」



九州パンケーキカフェ 宮崎本店

ココがスゴイ! POINT

2 point 海外展開

アジア、アメリカ、
ヨーロッパへ

現在、台湾に2店舗、シンガポールに1店舗。
ヨーロッパ、アメリカにも販路を拡大。
2020年12月には中国・北京への
輸出をスタートしました。

1 point
メイドイン九州の
商品開発

九州パンケーキ

九州の素材を使った積極的な商品開発で次々に新しいブランドを生み出しています。



3 point
KYUSHU ISLAND
イチオシ!
MATCHA・MODE



2020年10月発売のイチオシ商品

緑茶とモリンガなどを
微細粉末加工。水やお湯
にサッと溶けるので外出
先や運動後などシーン
を問わず、食物繊維や
テアニン、カテキン
などを摂取でき
ます。



九州の魅力を世界に 食を通じて発信

「九州パンケーキ」に続く商品を!
九州の企業・製造業者との共同開発
新たなブランドを生み出し世界へ



MUKASA-HUB内フードラボ



九州の魅力を世界へ。食文化で地域貢献

宮崎市内の裏路地にある『一平』という一軒の
寿司屋から私たちの会社は始まりました。初代
創業者・村岡正二から引き継がれた“地域に愛され
る新しい食文化を創りたい”という理念は、や
がて“九州の魅力を世界へ届けたい”という大きな
夢へと発展しました。豊かな食材の宝庫である
地元九州の大地の魅力をもちみなさんに届け
たい。そして、世界の食卓へ、九州の美しい自然

に恵まれたおいしい笑顔を伝えたい。まっすぐ
に、正直に、安心して楽しめる毎日のおいしさを
追究する。そんな思いで、九州で採れるすばらしい
食材の数々をステキなプロダクトとして皆さまの
元へお届けして参ります。愛する僕らのふるさと
九州-Kyusyu-を、より魅力的で豊かな地域に
育てていきたい。食文化で地元へ貢献できる企業
を目指して、私たち一平グループは存在します。



代表取締役社長

村岡 浩司
Muraoka Koji

1970年生まれ [宮崎市出身]

米国の大学付属の語学学校に半年間在学した後、大学へ編入。帰国後、小売卸業(輸入雑貨/アパレル)の会社を起業設立。2004年有限会社一平に入社。2019年より同社代表取締役(現職)
受賞歴:『第1回地場もん国民大賞』金賞/『九州未来アワード』大賞/『料理マスターブランド』
メディア出演:日経プラス10、カンブリア宮殿、夢職人 日経ビジネスなど多数

ネット事業もさらに強化し
新たなブランドを生み出し続ける

宮崎の郷土料理として浸透している
「レタス巻き」を生み出した老舗の寿司屋
『一平』。九州パンケーキカフェやフラン
チャイズのタリーズコーヒーなど飲食店
経営という主軸は大切にしつつ、村岡社
長自ら九州各地を巡り本物の素材を探し
求め、研究開発し生まれたのが「九州パン
ケーキ」です。宮崎は綾町、大分、長崎、
佐賀、熊本、福岡、鹿児島と各県の7種類の
穀物を配合し「ふわふわ、もちもち」な
食感のパンケーキミックスが完成しま
した。2012年の発売後は、数々の賞を
受賞。全国約3000箇所のスーパーや
小売店で販売され、海外にも店舗展開
するなど、瞬く間に国内外の人々に浸透
しました。

さらに九州のさまざまな食材の魅力を
生かし商品展開するべく、九州の製造業
者などと提携し、次々に商品開発を行っ
ています。老舗の味噌・醤油醸造所や製
麵会社などの製造力と、『一平ホールディ
ングス』の開発力や国内だけにとどまら
ない販売ノウハウ。それらが掛け合うこ
とによる相乗効果で、新たな商品を生み
出したり、ブランドを起ち上げたりと、事
業が大きく展開。「九州」としての魅力
を広く多くの人に届けることが可能になり

ました。
地元の豊かな食材を発見していくこと
で、農業の活性化、そして製造業と共同
企画することで地域の活性化につながる
など、九州の食を通じた幸せの連鎖の輪は
勢いを止めることなく広がっています。
今の時代に合わせて、ネット事業を
さらに強化するため、2020年3月に
オンラインショップ「KYUSHU
ISLAND(九州アイランド)」を開設
しました。「九州パンケーキ」などの自社
商品はもちろん、九州各地のブランドと
ネットワークをつなぎ、多彩な商品を
取り扱っています。今後はさらにパート
ナー事業者を拡大し、消費者にとっても
魅力いっぱいオンラインショップに
なることが期待されます。海外輸出もさら
に拡大中。九州の味が世界中の人々の食卓
に並ぶ日は、すぐそこまで来ています。



九州パンケーキカフェ 台北富錦店

Voice!

九州パンケーキを中心に一平グループで
開発した商品の営業担当をしています。
一人ひとりに、九州素材にこだわ
った商品を提案しながら、九州の素晴
らしさも一緒に伝えています。これか
ら九州の魅力が全国に発信してい
きたいです。

営業担当



自社ブランド鶏「夢創鶏」で宮崎の食材の豊かさを全国へ発信

食品産業の開拓に情熱を燃やすとともに、郷土の発展に寄与する企業を目指す



鶏生ハム



マイナス40度の急速冷凍で旨味を閉じ込めた鶏の炭火焼



塩鍋セット



レバーのコンフィ

養鶏から加工、販売までの全行程を一貫体制にすることで生産力を強化

「日本の農業と食を守る」を志して平成25年に会社設立。夢創鶏（むそうどり）は、池田社長自らが日々鶏舎に足を運び、飼育管理を徹底している自社ブランド鶏です。魚のアラに乳酸菌を配合した、こだわりの飼料「フィッシュサイレージ」で体重3kgと標準より大きく育てられた夢創鶏は、臭みがなく、各部位の肉質の柔らかさや歯ごたえの良さなど鶏肉本来の旨味と食感を堪能できます。

原材料のカット、味付け、火入れ、さらには真空包装などの生産加工の各工程を試行錯誤して作ってきたことから、少量多品種生産が受注できることも同社の強みです。2カ所ある工場の充実した機械設備と、生産から出荷までノンストップで行えるように冷凍用倉庫も完備し一貫体制を強化しています。また HACCP（ハサップ）対応の食品安全（JFS・B）適合証明の認定なども併行して取得。品質の向上および工場の安全・衛生管理の仕組みを作り、高品質かつ効率性の高さから顧客との厚い信頼を築いています。

として全国的に販路を拡大しています。創業当初は、育てて加工することはできても、売ることが難しく、いくら頑張ってもなかなか結果が出ませんでした。転機が訪れたのは、2016年に大手ビールメーカーのキャンペーン用商品に同社の「とりつくね団子」が起用されたことです。このことが起爆剤となり、大手居酒屋チェーン店や食品通販会社との契約にもつながり、現在はさらなる販路拡大のためにOEM（他社ブランド委託製造）、ODM生産（他社ブランド設計製造）にも注力しています。

「弊社は、経営理念の一つに、農産物の価値を高めることを掲げています。例えば、形が悪い野菜でも、カット野菜にすれば商品として価値を付けることができます。加工技術をさらに追求して、農家がここまでできるんだという証明をしたい。そして、大好きな宮崎に貢献し続けられる企業でありたいですね」と、池田社長は社員と一丸となって情熱を燃やします。



手作業で美しく盛り付けられた英楽のおせちとトマト鍋セット



1 point 夢創鶏

自社農場の生産によるブランド鶏。臭みがなく、肉の旨味と柔らかさ、歯ごたえを楽しめる肉質が特徴です。この夢創鶏を使って約10種類以上の商品開発を行い、販売しています。門川町ブランド認定第一号。魚のアラと乳酸菌を混ぜ合わせたフィッシュサイレージを飼料に使うことで、脂肪の熟成が進み、味に深みがある肉質になるようにこだわっています。

3 point 鶏の生産数

年間72万羽の生産規模を保有。育成率は97%で、鶏自体の個体重も3kg以上と好成績を維持しています。鶏舎内は、おがくずを敷き詰め、常に清潔で徹底した衛生管理を行っています。ゲージではなく、平飼いすることで鶏へのストレスを最小限に抑え、より自然に近い状態で飼育しています。



ココがスゴイ!

POINT



2 point

一貫体制による生産

鶏の生産から加工、出荷（販売）まで、すべて自社による一貫体制で行っています。行き届いた管理体制の下、食の安全・安心はもとより、1日1品目のライン製造により、他の商品と混ざらないようにする品質向上へのこだわりなど、独自の理念を追求しています。



手作業で鶏のカットを行う



自動真空包装機



自社冷凍倉庫

「宮崎を“食”を通して豊かにしていきたい」

長年、農業に携わってきましたが、農家の高齢化や就農する若者の現象を目の当たりにしてきました。今後宮崎などの地方都市では、人口減少をはじめとする衰退が急激に進むことになると思いますが、自分の子どもや次世代に、愛する故郷・宮崎をつないでいくために、食品業界を中心とした産業で都市部を支え、また、宮崎を日本の台所として発展させ、社会貢献していくことを使命と考えています。

代表取締役

池田 英勝

Ikedata Hidekatsu

1972年生まれ [門川町出身]

座右の銘は、「人は城、人は石垣、人は堀、情は味方、仇は敵なり」/「故郷を支える日本の食」。父の世界がきっかけとなり、土木業から養鶏農家に転身。16年ほど養鶏業を経験した後、次世代に新しい農業の形を残したいと思い、英楽の創業を決意した。

Voice li

仕事のこともプライベートなこともわからないことがあれば気軽に相談できる上司や同僚がいます。とてもアットホームな会社です。日々の業務の中で失敗もありますが、その分次に生かすために話し合いをしたり、試行錯誤をしたりと責任感ややりがいも感じることがあります。

営業部



<https://musodori.co.jp/>

04 株式会社 英楽 [業種] 食料品製造業

〒889-0603 東臼杵郡門川町加草419-1
TEL.0982-63-1029 FAX.0982-63-1063

代表：代表取締役 池田 英勝
資本金：1,000万円
社員数：31名(2021年4月末現在)
創業年：2013年



宮崎大学医学部附属病院患者付添者等宿泊施設
「THE CROSS ROADS」

ココがスゴイ! POINT

2 point ホテル事業、 タクシー事業 START!

宮崎大学医学部敷地内に患者付き添い型宿泊施設「THE CROSS ROADS」を寄贈。「地域に支えられているからこそ、貢献したい」という思いを込めております。また、日向には「THE VILLA SHARE」を建設。一棟二階建てのリラックスできる空間で、2階からのocean viewが魅力的なホテルです。また、2020年11月には、タクシー事業部もSTARTしております！是非ご利用お願いいたします。



「THE VILLA SHARE」(日向市)



2020年11月からタクシー事業を開始

1 point 全国初! 新たなリハビリ体験! カーリハ

車の運転は、目、耳、手足など人の五感を最大限に活用し、体内の感覚を呼び覚ましてくれるとても効果の高いリハビリテーション。日本初の新たなリハビリ手法として、大きな反響を呼んでいます。

3 point 地域貢献に大きな役割 数々の受賞歴

幅広い分野での様々な取組に対する功績が認められています。

- 中小企業庁の異分野連携新事業分野開拓計画(新連携事業計画) 認定
- 経済産業省平成29年度健康寿命延伸産業創出推進事業 採択
- 経済産業省地域未来牽引企業 選定
- 宮崎銀行ふるさと振興助成事業 認定
- 中小起業庁はばたく中小企業・小規模事業者300社選定
- 経済産業省 地域中核企業創出・支援事業における地域中核企業 選出



自動車学校の枠を超え！独自のAI型自動車運転評価システムを開発



自動車 × リハビリ 異業種の融合 次世代への願いを込めて

高齡ドライバーによる事故増加を食い止めるため、独自のAI型自動車運転評価システムで安全な自動車社会の実現に貢献



「ONE FOR ALL ひとりみんなの為に」

私は、社員に「負けて勝つ」という言葉を伝えています。目の前に壁があり、苦勞したとしても次に繋がる成果はついてきます。それは周囲の支えによるものです。地域に支えられている弊社だからこそ、成長すればするほど、社会貢献が重要であると考えており、弊社の全てに繋がっております。

弊社は、自動車教習所、自動車学校、介護、医療療養、そして新たにホテル事業とタクシー事業を進めております。高齡化社会にはイノベーションが必要であると感じており、カーリハは全国初の取組です。また、高齡者と児童

が同施設内で過ごすことで、学びと育みの場になっており現在の社会に必要な環境を提供しています。地域を大切に、学生から高齡者までお役に立てればと考え、患者様に付き添う方の思い、学生への期待と応援を込めて宮崎大学医学部附属病院に患者付き添い型等宿泊施設の寄贈をさせていただきました。

「OFA」ONE FOR ALL ひとりみんなの為に、それこそが弊社の気持ちであり、代表としての言葉です。今後とも弊社をよろしくお願いたします。



代表取締役社長

服部 幸雄
Hattori Yukio

1975年生まれ [宮崎市出身]

座右の銘/負けて勝つ。趣味は釣りとゴルフ。

社会問題解決の一翼を担うサービスを提供

自動車教習所と介護事業という異業種を融合させたサービスを手がけるオファサポート。車の運転を通して認知機能と身体機能の向上を目指す「カーリハ」が、日本初のリハビリプログラムとして注目を集めています。

2006年、自身の自動車学校勤務の経験を生かして南九州自動車教習所を立ち上げた服部社長。他社よりもいち早くオンデマンド教習を取り入れるなどして順調に業績を伸ばしてきました。2008年には高齡化社会を見据え、福岡で訪問リハビリ事業を開始。こちらにも軌道に乗り、宮崎でも展開を始める際に生まれたのがカーリハです。

「認知↓判断↓操作の繰り返しである車の運転を介護に取り入れれば、忘れていた体内の感覚を呼び覚まし、脳のリハビリに高い効果が出せるのではないかと考えたんです」と、服部社長は介護事業に車の運転を取り入れました。

そんな同社が現在開発に力を入れているのが、AI型自動車運転評価システム「S・D・A・P II スタップ」です。「S・D・A・P」は走行中のデータを点検し、高齡者の運転技術を客観視するための材料を提供します。



重要視する社会貢献活動の一環として寄贈された「THE CROSS ROADS」

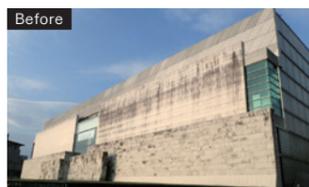
「今後さらに増えていく高齡ドライバーと免許返納の問題。そして運転をしなくなることによる認知面など健康への弊害。これらの社会問題解決の一翼を担えるよう「S・D・A・P」の製品化へ邁進しているところです」と服部社長。直近では、患者の家族が宿泊しながらかき添いや看病ができる患者付き添い型宿泊施設「THE CROSS ROADS」を宮崎大学医学部附属病院に寄贈するなど、地域に貢献できる企業として進化を続けています。

Voice!

代表の言葉「負けて勝つ」をモットーに、とにかく挑戦することを心掛け、ホテル事業の立ち上げに携わってきました。顧客のニーズを把握し、それを具体化していく、とても面白い仕事だと感じます。

ホテル事業兼広報部





高千穂通りの歩道洗浄

ココがスゴイ! POINT

1 point 除菌洗浄工法として初の「NETIS」登録カビとり隊

国土交通省が運営する公共工事における新技術活用システム「NETIS」に、洗浄工法として初めて登録されました。独自の除菌分解洗浄剤「ジョキント」を使用し菌を分解すると、施工時間も短縮され作業効率が向上します。

2 point

九州ニュービジネス大賞にて審査員特別賞を受賞

「第18回九州ニュービジネス大賞」にて「特殊分解洗浄工法『カビとり隊』」が、審査員特別賞を受賞しました。将来に渡り大きく発展が期待される企業として、注目されています。



3 point

オリジナル洗浄剤「ジョキント」

独自の除菌分解洗浄剤は、塗布することで菌核まで除去し防カビ効果を発揮。歩道のすべり転倒事故等の安全性や建物の美観の長期維持に期待ができます。また、食品添加物レベルの安全性の高い洗浄剤なので洗浄する素材を傷つけません。流しても植物に影響を与えず、環境にも優しい洗浄剤です。

当社の採用方針

建設業・特殊洗浄事業ともに興味のある方を募集しています。社員も若く、活気あふれる職場です。一緒に街を作る・街を守る仕事をしましょう!



人を輝かせる企業でありたい

グループ全体の理念のもと、創業時からお客様をもてなすサービスで感動と喜びを感じていただける企業でありたいと努めてまいりました。

弊社独自の個性を表現する街づくりの根幹には、いつも“人”の存在があり、“人”が輝き成長することが当社の成長でもあります。

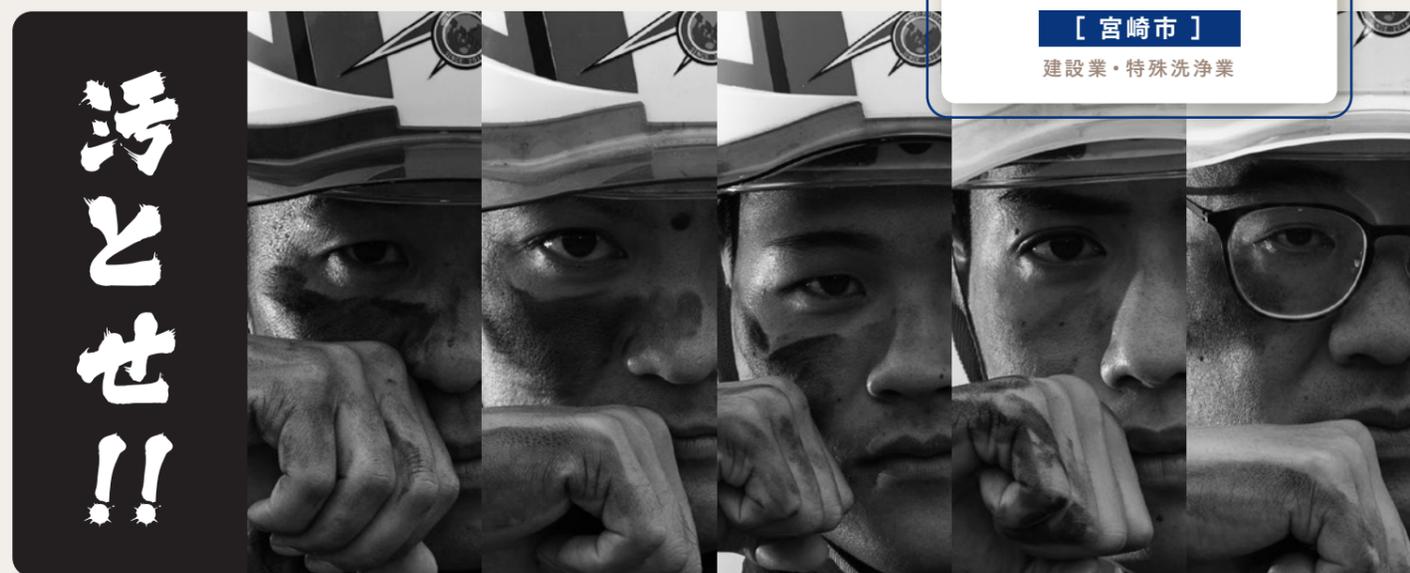
企業は時代や規模に応じて変化していきますが、当社において「人」の輝きに満ち溢れた環境を創る大切さは普遍的であり、今後も“人”を輝かせる企業であり続けることが、当社にとって何よりも大切だと信じています。今後は更なる企業成長を見据え、感動を演出できる人材と共に“人”が活躍する企業を目指してまいります。

代表取締役

山本 貞輝
Yamamoto Sadaki

1976年生まれ [三重県出身]

趣味はサーフィン。
コロナ禍で社員と始めたゴルフを猛特訓中です。



カビとり隊

環境にも配慮した 新たな洗浄法

汚れの原因となる「カビ」に着目
独自の洗浄工法で「NETIS」認定され、
ニュービジネスとして注目が高まる

独自開発の洗浄剤とノウハウを駆使した洗浄工法

建設業と特殊洗浄業を二本の柱とする「九建」。創業当初は建設業を中心としていましたが、雨の日は現場での作業がストップしてしまうことも多く、そんな時にできる仕事はないか、と案を練る中で「カビ」に着目した洗浄工法を確立しました。2016年に専門部署を立ち上げ、今では新たなビジネスモデルとして高い注目を集めています。

今までの洗浄は高圧洗浄が一般的でした。しかし、高圧洗浄でキレイにしても一年もたずに同じ状態に。そこで目をつけたのが「汚れの原因はカビだ」ということでした。汚れの原因となるカビそのものを、独自開発の除菌分解洗浄剤「ジョキント」で菌の核まで死滅させ美観の長期維持を可能にしたのです。また、除菌分解洗浄剤「ジョキント」は、食品添加物レベルであるため、洗浄中に植物にかかったり、洗浄後に流したりしても環境などに影響を与えません。その「ジョキント」とこれまで培ってきた汚れやカビに応じた洗浄のノウハウを組み合わせることで、外壁の素材、道路や歩道の表面、室内の天井や壁など、どんな素材も傷つけずにきれいにし、さらにきれいな状態を保てる洗浄工法を確立したのです。

今あるものを長く大切に使い続けることができるという観点からも、SDGsの取り組みの一環として、これからますます注目されることが期待されています。また、この新たな除菌洗浄工法は、2020年に国土交通省が運営する「NETIS（ネティス）」に除菌洗浄として初めて登録されることになり、さらに信頼性が高まっています。

現在は、官公庁からの依頼を中心に、県内で洗浄作業を行っています。2021年11月には福島県の結婚式場でも施工しています。また、「第18回九州ニュービジネス大賞」では「審査員特別賞」を受賞し、さらにさまざまな分野からの関心が高まっています。2021年4月には鹿児島市にランチサイズ1号店を出店しました。今後も九州内外にとどまらず全国へフランチャイズ展開を行なっていく予定です。

独自の洗浄工法の施工で、街が住みやすくなるなど人に喜ばれるこの仕事は、働く社員のやりがいにもつながっています。先輩社員も若手社員も一丸となり、人や社会が輝くことを大切にしながら、「九建」は企業としての発展も目指しています。



分からない事はすぐに先輩隊員が熱心に教えてくれ、とても環境に恵まれています。新しい技術や考えを持つようになり「九建」のバックボーンになれるように日々精進しています。

特殊洗浄事業部





ココがスゴイ! POINT

2 point 圧倒的な輸出量

日本から輸出される サツマイモ全国1位

日本から輸出されるサツマイモの約1/3が同社商品です。日本では廃棄されていた“小芋”に目をつけ、保管（キュアリング）、包材などにも工夫を施し、安定した品質と価格で他社を圧倒しています。



袋詰め作業



海外でも人気



社員のアイデアで生まれたオリジナル絵本

1 point 消費者ニーズに応える商品開発

出荷量5,000トン 売上高約14億円

消費者ニーズに応える多品種のサツマイモだけでなく、冷凍焼き芋や青果用のサツマイモを使用した焼酎も開発。「サツマイモ専門店OIMALL（オイモール）」も運営しています。

3 point 従業員が若い!

平均年齢34歳



農業法人としては非常に若い平均年齢34歳という年齢構成です。



多品種のサツマイモを串間から世界へ! 農家の収益も高める 「強い農業」

独自の商品開発と販売ルートで海外販路も拡大中
生産農家も消費者も若い社員も“嬉しい”の連鎖



くしまアオイファームの自社農園

「温故拓新。故きを温ねて新しきを拓（ひら）く。 時代と共に進化する農業へ」

経営理念は「強い農業はこえていく」。「こえる」という言葉の中には、時代を越え、しがらみを超え、サツマイモを通して人々が肥えていけるような社会を目指していこう、という3つの思いが込められています。農産物の品質は天候に、価値は時価に左右され、国内農業従事者の平均年齢も上昇していく現状の中では、すでに選択肢は限られています。

農業者でもある私たちが掲げているもうひとつの理念として「温故拓新（おんこたくしん）」があります。故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを拓（ひら）く。私たちが今、農業に取り組むことができているのも、先人が開拓してきた環境や長年の知恵が積み重なって現在につながっています。



代表取締役会長

池田 誠

Ikeda Makoto

1970年生まれ [串間市出身]

趣味は釣りや料理で、釣ってきた魚の手料理をスタッフに振る舞うことも。歴史が好きで、出張などで時間があるときはその土地の史跡などを巡っている。

設備投資と独自の商品開発で新たな展開へ

祖父から続くサツマイモ農家を継いでしばらくは一農家として出荷していた池田誠会長。複数の中間業者を通すことで出荷時の約10倍の値段になって海外で売られていることを知り、「消費者も嬉しくないし、生産者の利益にも直結していない」と一念発起し、2013年に法人化しました。サツマイモの栽培方法を改善し、包材を開発して袋詰めするなど、付加価値を高めることに尽力しました。同時に地道な営業活動もスタート。それぞれの努力が実り、飛躍的な成長につながりました。

農家からの買取価格を高く設定し、量も問わず規格外でも買い取るなど、農家の収益アップにも貢献。池田会長に賛同する契約農家も年々増加しています。国内で廃棄されていた小芋が、海外でニーズがあることに目をつけ、香港やシンガポールなどに販路を拡大。今では、日本から日本から輸出されるサツマイモの3分の1の量を占めるまでになりました。また、2017年に行った設備投資により、日量20トン出荷できる出荷場、約1200トンを貯蔵できる貯蔵庫を整備しました。さらに2020年には約1000トン用貯蔵庫を整備するなど、更なる出荷増量と売上増加のための取組を強化してきました。



もちろん、サツマイモの質の向上にも力を入れています。より自然なおいしさを追求するための減農薬、より長く高品質を保つため貯蔵するためのキュアリング処理も行っており、2018年から宮崎大学農学部と共同研究を開始し、新品種の開発も行っています。

また、同社では消費者ニーズに合わせて商品開発を行い、冷凍焼き芋や焼酎「伍煌（ごこう）」などの加工品を生み出しています。通販サイト「サツマイモ専門店OIMALL（オイモール）」では、紅はるかや上品な甘みのシルクスweetpotatoなど5品種の青果サツマイモや、加工品なども販売しています。さらにサツマイモを使った料理やスイーツのレシピを紹介し好評を得ています。

今後も、地域活性化のため、サツマイモ農家の利益確保、若い就農者の獲得に努めるとともに、海外輸出戦略で会社を成長させていきます。

平均年齢34歳という若いスタッフたちの力やアイデアを生かしながら、サツマイモを通して夢に挑戦し続けます。

Voice!

営業を担当しています。社外の人と話す機会が多く、おのずとコミュニケーション能力やトーク術が身につきます。まだまだ半人前ですが、日々一生懸命に勉強しています。社風は明るく、若い世代が多いので、スピード感があり、自分の意見を出しやすい雰囲気です。 営業担当





北部九州支店

ココがスゴイ! POINT

2 point 有資格者人数

医療情報技師
31人

社員の医療情報技師の資格取得を積極的にバックアップしています。また、特殊データベース「キャッシュ」の全国でも有数の技術者集団です。



当社の採用方針

医療現場を支え、医療従事者に貢献するサービスを手がけています。お客さまに真摯に向き合い、主体的に行動できる方をお待ちしております！
詳細は弊社HPからご確認ください。

1 point 医療現場の革新に貢献!

自社パッケージ

県内唯一の電子カルテのメーカーとして企画・販売・導入・保守サポート・システムバージョンアップまですべて自社で行い、地域医療の課題解決をシステムでお手伝いしています。



3 point 製品受賞歴

「カルテMan・Go!」がユーモアネーミング賞を受賞

日刊工業新聞主催の「第29回読者が選ぶネーミング大賞」において、「ユーモアネーミング賞」を受賞しました。これからも長く広く愛されるよう医療現場に寄り添い、お客様からの声をシステムにしっかりと反映させたサービスを展開します。



医療現場の声をシステムに反映

医療現場を支える電子カルテシステム「カルテMan・Go!」

宮崎で生まれた電子カルテシステム

現場の声に寄り添い、問題を共に解決
独自の電子カルテシステムは全国へ



企画からサポートまでワンストップ対応

「完熟マンゴーのように、 生み育てた製品を全国へ波及」

故郷宮崎で、ほんの数名の零細企業としてスタートし、地域の医療従事者からの声と長年向き合い、医療従事者の方々のご支援とご指導を受けて企業としての成長を続けてきました。宮崎で育てていただいた企業として、医療というなく

てはならない分野に今後も寄り添い、宮崎・九州の医療ICT化への貢献を続けていくとともに、完熟マンゴーのように、宮崎で育てた競争力のある製品を全国へ波及させ、地方・宮崎のベンチマークとなれるような会社を目指しています。

代表取締役

吉田 勝弘
Yoshida Katsuhiko

1951年生まれ [宮崎市出身]

趣味はダイビング。年に1回は海外の著名なダイビングスポットへ出かけている。これまでに潜った中ではモルディブやパラオの海は素晴らしく、特にオススメ。今の楽しみは「コロナ終息のあかつきに、メキシコ湾やカリブ海でのダイビングを計画すること」。

お客様の笑顔と満足度向上のためのシステム開発からその後のサポートまで

私たちの健康を守り、安心安全の暮らしを支えてくれている病院やクリニック。そんな医療現場の悩みや課題解決をICTのチカラで支援しているのが「コア・クリエイトシステム」です。主力製品である電子カルテシステム「カルテMan・Go!」は、宮崎はもちろん、九州、そして全国へと好調な広がりを見せています。

電子カルテシステム「カルテMan・Go!」は、2016年に誕生。ユーモラスなネーミングは、人（Man）が動く（Go）＝働くを意味し、「医療現場が、より動きやすい環境に整うように」との願いが込められています。長年にわたり医療現場で丁寧なヒアリングを行い、改良に改良を重ねた、同社の技術と想いを結集したこだわりのシステムです。大規模病院から中小規模の病院まで、あらゆる現場の声に耳を傾けた結果、病院内の痛みを効くシステムを現実のものとした。その販売開始以来、多くの悩める医療機関で採用され、様々な問題に直面している地方医療現場を支え続けています。

全国数あるICT企業の中で、同社の特徴は、地方では珍しくメーカーという立場を堅持しているところ。電子カルテ



24時間365日医療現場をサポート

システムの他にも、医療機関の経営力向上をサポートする医療特化型の経営分析システム「マキキュリー」など医療現場の課題解決をサポートする製品開発を精力的に行っており、かつそれらの企画開発からアフターサポートまでを全て同社でワンストップ対応しています。特にアフターサポートにあたっては医療機関の診療にリスクを生まないよう、24時間365日のサポート体制を備え、災害や停電等有事の際にも迅速なシステム復旧を可能としています。診療の安心安全をサポートしてくれるパートナーとして、同社は医療機関にとって身近で頼れる存在となっているようです。

今後も「医療に寄り添い、医療を支える」という理念のもとに開発された宮崎産の完熟「Man・Go!」が全国に普及していくことでしょう。



Voice!

電子カルテシステムを導入して下さっている各病院さまに、より良いものをお使いいただけるよう、日々システムの開発を行っております。上司や先輩方に相談した際も、丁寧に教えていただき、自己成長に繋げることができます。

システム事業部



-196℃でも使用可能な超低温ラベル

時代のニーズに応える 特殊シール製造

特殊な印刷技術が幅広い分野で注目!
多方面に進出するため技術を高め、
時代やニーズに合わせて、医療・工業分野へ



高精度スリット加工



数多くの表彰を受けるシール・ラベル印刷技術



高精度の寸法管理

ココがスゴイ! POINT

1
point

ハイブリッドラベル 経済産業大臣賞 を受賞

印刷、精密貼り合わせ・抜き加工、精密スリットなどの固有の技術を融合した特殊ラベルが自慢です。第29回ラベルコンテスト(2019年度)経済産業大臣賞を受賞するなど、高い品質を誇る特殊機能ラベルの加工は、最も得意とする分野の一つです。

2
point

高付加価値な製品を 素材開発にも注力

粘着剤を塗工する塗工機を導入しており、加工技術のみならず素材開発にも力を入れています。耐溶剤、超低温ラベル、低温セキュリティラベルなどの同社オリジナルのオンリーワンの素材を開発しています。

3
point

クリーンルーム クラス 100~1,000

業界有数のハイクラスなクリーンルームを完備することで、不純物を除去。徹底した品質管理で高品質な製品の製造が可能に。



真剣な表情で取り組む複合加工



赤外分光法 (FT-IR) 解析

当社の採用方針

高品質、先進性、柔軟性の企業価値を共有し、豊かな発想、協調性、積極性も持って職務に励む人材を求めています。

「無くてはならない企業」として成長し続ける

社会の中で明確な役割分担を持つことで「無くてはならない企業」であり続けたいと思っています。そして企業として成長することで、地域社会においても無くてはならない企業としての付加価値を大きくするべく活動していきます。また、全従業員の「生きがい・やりがい・働きがい」という幸福を実現することも大切にしています。

代表取締役

窪田 祐一

Kubota Yuichi

1980年生まれ [都城市出身]

自然が好きでテントを担いで登山に行ったり、自宅で植物を育てたりしています。



企業として成長し続けるため、働きやすい環境づくりも大切に

シール・ラベル印刷を主とした「シール部門」、フィルム・テープや特殊光学フィルムの貼り合わせ、精密加工を行う「複合加工部門」、積層材料や非鉄金属精密スリット加工の「スリット部門」の3部門から構成されている同社。食品向けシールラベルから工業製品向けの特殊ラベルまで、時代の変化やお客様のニーズに合わせて、高付加価値な製品づくりを行っています。

3部門の技術を融合させたものづくりを得意とし、製造技術に加え、設計・開発体制を構築。持続的な技術開発力の強化に取り組んでいます。「耐溶剤ラベル」「低温セキュリティラベル」など、自社開発の新素材で他社との差別化を行うなど、独自の商品開発にも注力しています。

例えば、バイオ・メディカル分野において、検体の保管・管理方法は、液体室素を用いてマイナス196度で急速凍結しています。そのような超低温の中でも印字が消えず、ラベルが剥がれることもない高品質な「超低温ラベル」の開発・商品化を実現しました。また、アセトン、キシレンなどさまざまな有機溶剤や薬品に触れてもラベルが剥がれず、印字が消えないという特殊な性能を持つ「耐溶剤ラベル」

も開発。臨床検査や病理検査などの医療現場で活躍しています。そして、スマートフォンやカーナビの液晶、カメラやプロジェクタの光学レンズ周辺など、いわゆる電子デバイス向けテープ・フィルム部品の精密加工においても、長年、グローバルメーカーに採用されています。製造工程はハイクラスのクリーンルームを完備。空気中のコンタミを排除することで、高品質かつ高精度な製品を生み出しています。

営業面では、単に「ものを売る」のではなく、品質やお客様の製造効率まで配慮した「顧客第一主義」の提案営業で、医療、化学工業、航空機など幅広い分野で企業開拓を行い、さらなる企業成長を図っています。

Voice!

常に新しいことにチャレンジする会社で、やる気があれば機会が与えられ、成果を評価してもらえる働き甲斐のある会社です。当社独自の小集団活動等で社会人としての基礎力も養われます。

営業部



09 株式会社 サニー・シーリング
[業種] 印刷・同関連業

〒885-0093 都城市志比田町3744-1
TEL.0986-23-9364 FAX.0986-23-9397

代表：代表取締役 窪田 祐一
資本金：2,200万円
社員数：110名(2021年3月末現在)
創業年：1982年



<https://sunnysealing.jp/>

宮崎県発の技術力で 世界のものづくりを支える

製造・検査設備の設計、精密加工部品の製造
独自の開発力で現場に貢献する製品をつくり出す



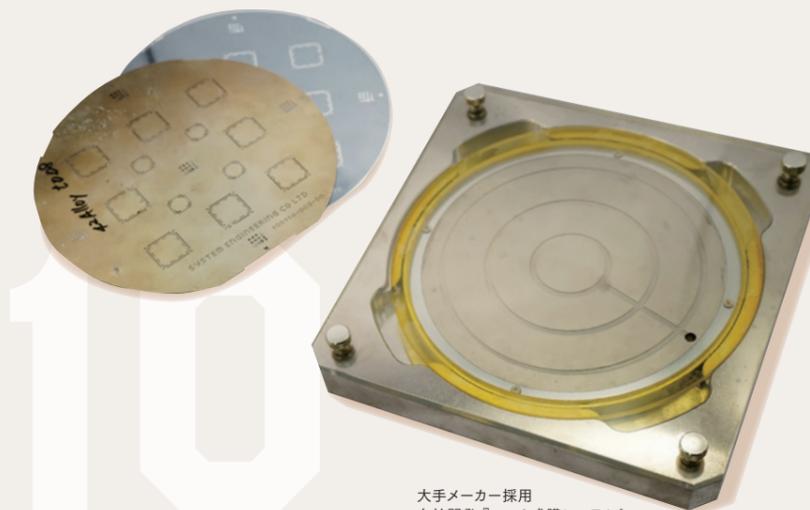
未来のものづくりを担う技術力



社屋からの霧島連山景観



企画・設計から組立、試運転調整まで
一貫生産体制



大手メーカー採用
自社開発「マスク成膜システム」

蓄積した技術力とノウハウが力に
人材育成も大切に風通しの良い社風づくり

技術部門では、エレクトロニクス分野（半導体、液晶、電子部品など）、自動車分野、医療分野を中心とした製造設備、検査設備などの設計・製作の事業展開を行っています。製造部門では、精密加工部品、三次元加工を主力として各分野の機械部品、金型部品及び治具などの製作を行っています。企画、設計、組立、試運転調整まで一貫生産体制で取り組んでいます。

今後のめざましい成長が見込まれるパワーデバイス（電源用半導体）の製造工程でも同社製品が大手メーカーを含め、県外企業を中心に採用されています。また、半導体の製造工程に導入することで約30%のコストダウンを可能にする「マスク成膜システム」も企画開発し、販路を広げています。

数年前から医療機器産業へも参入。医療機器製造に必要な許可を取得し、宮崎大学との共同開発により手術補助器具「TVM穿刺針（骨盤臓器脱手術に使用される改良型穿刺針）」を開発しました。この器具で手術がスムーズになることで、患者の負担軽減にも貢献しています。

長年蓄積したノウハウ、技術力を生かした自社製品の開発にも力を入れていきます。県内で発生した鳥インフルエンザや

口蹄疫を踏まえ、2年前から独自に小型PCR検査装置の開発に取り組み、持ち運びが楽に行える小型化、検査時間の短縮などを可能にした独自のウイルス検査装置を開発するなど、様々な分野で同社の技術が生かされています。

同社は、人と人とのつながりを大切に1985年の創業以来、多くの優秀な人材に出会い育ててきました。「人材力は企業の力。一人ひとりの能力を引き出せるよう、教育には時間をかけ、大事に育てていきます」と長峯社長は語ります。充実した休日が業務パフォーマンスを高めると考え、2017年にはワークライフバランスの改善に取り組むため「アンバーサラー休暇制度」や「時間単位の有給休暇制度」を導入しました。風通しのよい社風づくりを目指し、社員同士の交流も大切にしています。「企業が困っていることをお手伝いする」気持ちに胸に、社員一丸となって新たなステージを目指します。



社員教育や福利厚生も充実

ココがスゴイ!

POINT

1
point

全国から信頼される企業

ものづくり日本大賞九州経済産業局長賞、地域未来牽引企業認定のほか、県内外から信頼される証として、数々の賞を受賞しました。

2
point

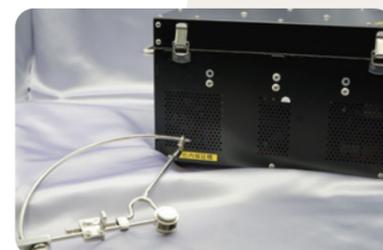
お客様のニーズを形にする

高い技術力だからこそできる、完全受注システム。部門を超えて社員一丸で製品を作り上げていく喜びは格別です。

3
point

身近な生活を支える

同社製品で作られたものは、スマートフォンや自動車など、私たちの生活に欠かせないものに活かされています。



医療機器 TVM穿刺針、小型PCR (開発中)

経営方針は、創造・技術・調和を大切に!

当社は1985年の創立以来、一貫してものづくりに関わってきました。創立当初より築き上げてきた精密部品の加工技術をものづくりの根幹と位置づけ、長年の経験と研究開発により蓄積されたノウハウ・技術を融合し産業用メカトロニクスでお客様の成長に寄与してまいりました。昨今では働き方改革を反映した新しいワークスタイルへの変革。また、コロナ

禍で急速に変わりゆく社会情勢に対しても臨機応変に対応し、ピンチからチャンスを探る経営に取り組んでいます。

目指すものは地域社会に留まることなく、国際社会に貢献していくこと。そのためにシステム技研はこれからも困難に挑み進化を続け、更なる企業の成長を推し進めてまいります!

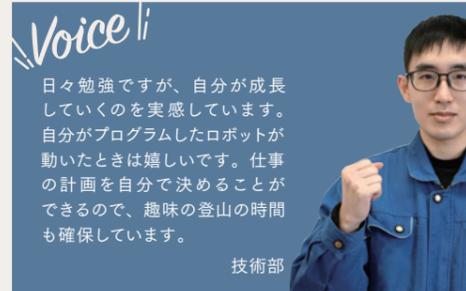
代表取締役
長峯 清隆

Nagamine
Kiyotaka

1947年生まれ [都城市出身]

大手電機メーカー (NEC) に勤めながら、東京電機大学で勉学に励みつつ、実務経験と知識を重ねた。帰郷後、1985年に都城市にてシステム技研の前進である、株式会社マストを共同創業。1987年に独立し株式会社システム技研を創立。仕事のモットーは「初心回帰」。

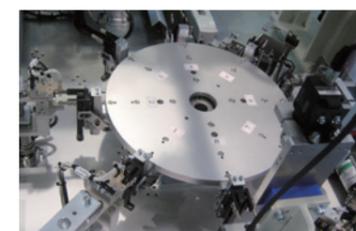
技術部



日々勉強ですが、自分が成長していくのを実感しています。自分がプログラムしたロボットが動いたときは嬉しいです。仕事の計画を自分で決めることができるので、趣味の登山の時間も確保しています。



高い技術力で多様な製品を開発



製品検査装置



<http://www.sys-gi.co.jp/>

10 株式会社 システム技研
[業種] 生産用機械器具製造業

〒885-0006 都城市吉尾町1989-1
TEL.0986-27-5300 FAX.0986-27-5301

代表: 代表取締役 長峯 清隆
資本金: 1,000万円
社員数: 43名(2021年5月末現在)
創業年: 1985年



ポータブル水素発電機

電気一筋 グローバル化に対応する エレクトロニクス集団

自社技術の集大成
環境クリーン化製品で、
次世代に誇れる地球環境に貢献する



制御盤設計



板金加工



制御盤試験

「ISO9001」取得でグローバル化にも対応

旭化成(株)からモーターや変圧器の巻替修理工場としての指定を受けて1951年に創業した同社。総合的なものづくりで事業を拡大してきましたが、社員の離職率が高く頭を悩ませた時期もありました。

「手塩にかけて育てても1〜2年で辞めてしまい、職業訓練校だと呼ばれることもありました。組織や給与体系などを一から見直し、離職を食い止められたからこそ、今の売りに繋がっています」と一瀬社長。

今では地域社会の繁栄に貢献する「エレクトロニクス集団」として日本全国へ事業を展開。精密板金加工に必要な切断・曲げ用プレス機を中心に各種溶接機や大型塗装乾燥設備など多種多様な設備を保有し、製造、工事、メンテナンスまで一貫して受注しています。

省エネルギー・環境リサイクルに配慮した自社商品の開発にも力を入れている同社。中でも食品加工場、ホテルや大型複合施設から出る食品残渣を短時間で発酵分解し、肥料や飼料に再生できる「BUICK(ビューイック)システム」は、JICAのベトナム支援事業でも環境改善に成果を上げています。また、災害時の

非常用電源として水で水素を発生させ発電する「ポータブル水素発電機」、摩擦、引張、錆に強く野外防水シートの3倍の耐久性がある「特殊塗装ポリウレタ」なども注目を集めており、さらなる事業拡大に向けて意気込んでいます。近年は、広さ約8ヘクタールの極力農業を使わない自社の有機農場を構え、「BUICKシステム」や「活誠水」など自社開発製品を利用しながらお米や野菜などの栽培も行っています。

2002年の「品質マネジメントシステムISO9001」取得によって国際的にもその品質が保証されることになった同社は、グローバル化に対応できる会社としてさらなる技術と品質の向上を目指し、資格や免許の取得にみんなでチャレンジしていきます。



「BUICKシステム」など独自の技術を活かした自社農園

ココがスゴイ! POINT

1 point

オーダーメイド 制御盤

制御盤や受電盤を、設計から現場据え付け工事まで一貫して行うことができ、お客様の要望に応じた制御盤のオーダーメイドが可能です。

2 point

独自の開発技術と 特許取得

自社オリジナル商品も開発しており、水素燃料電池などによる特許を取得しています。
※一部共同開発特許あり

3 point

製品開発で 海外での環境改善 にも貢献

食品工場などから出る食品残渣を、8時間で有効な肥料に変えることができるBUICKシステムを自社開発し、更なるその肥料を活用した農業にも取り組んでいます。



短時間で発酵分解し、有機肥料へと転換する「BUICKシステム」

基盤技術の体制強化

延岡というものづくりの街で創業し、これまで数々のお客様とお取引をさせていただきました。当社の品質や安全面も含めた技術力は、そうしたお客様との交わりの中で向上してきたものです。

年々、新しい生産設備の導入により、自動化、省力化を進めてきました。同時に、弊社の基幹事業は従業員一人ひとりの技術力により支えられていることから、ベテラン技術者から次世代への技術継承や、国家資格、免許の取得に注力しています。

例えば、資格取得奨励制度を設け、従業員が資格取得に挑戦し易いように、日程や費用等の面でバックアップを行い、取得後には全社員の前で表彰するなど全体のモチベーションの向上を図っています。

今後も、基盤技術の品質向上を図るとともに、「BUICKシステム」や「ポータブル水素発電機」など、自社商品のメーカーとしての体制づくりを引き続き行っていきます。

代表取締役社長

一瀬 直行

Tsukasa Naoyuki

1951年生まれ [延岡市出身]
趣味は農業とゴルフ。



さまざまな部署があるので、電気工事や制御盤の組立、溶接などから興味のある分野を伸ばせるのが嬉しいですね。一生使える技術が身に付きますよ。

制御盤製造保全部



11 株式会社 修電舎
[業種] 電気機械器具製造業

〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39-112
TEL.0982-33-3789 FAX.0982-21-1831

代表：代表取締役社長 一瀬 直行
資本金：4,500万円
社員数：93名(2021年2月末現在)
創業年：1951年



<http://www.syudensya.co.jp/>

地域の資産 “高品質な養殖魚” を世界へ

ブリやカンパチといった養殖魚の加工販売を行う同社
海外からも高く評価されるその品質を武器に
挑戦を続けています



自社ブランド「金太郎ぶり」



12

数年後には倍以上の加工尾数に

延岡市北部の港まち北浦町。入江に位置し、波が穏やかなことから、ブリやカンパチの養殖が盛んに行われてきました。そのブリやカンパチを産地で加工して付加価値を付けられれば、生産者の利益や地域の活性化にもつながるのではないか。小川社長がそんな強い思いを持って立ち上げたのが新海屋です。

以前は、遠方の加工場に出荷せざるを得なかったため、せっかくの新鮮な魚が輸送中に痩せたり死んだりしてロスが多かったといえます。同社の誕生によりそんな状況は一変。地域の資産である高品質な養殖魚をその産地で加工して出荷できるようになりました。

平成30年には、最新鋭の加工設備を備えた新工場『北浦ベース』が完成。高い衛生管理と大幅な増産を実現し、海外へも販路を広げています。

「平成31年に海外への輸出事業をスタートさせたのですが、翌年にはアメリカで5万尾のブリを販売するまでになりました。現在は新型コロナの影響もあってアメリカへの輸出はストップしているのですが、新たにシンガポールや台湾への販路ができたのでこちらを伸ばしていきたい」と小川社長。さらにヨーロ

ッパへの販路を広げるために『EU HACCP(ハサップ)』の認証取得など、海外展開への取り組みを強化しています。

一つ目は、楽天市場にオープンした直販ECサイト『鯛屋金太郎』。その品質とおいしさに「こんなにおいしいブリは初めて」という満足のレビューが多数寄せられています。今年にはさらにYahoo、Amazon、自社サイトでの展開も計画しており、新たな事業の柱として期待を掛けています。

もう一つは、社会人硬式野球チーム『新海屋ベースボールクラブ』の立ち上げです。「やるからには5〜6年で全国レベルを目指す」という本格的なチームで、地元の若い人たちが仕事と野球を両立できる環境を整備するという社会貢献が目的です。

「現在の年間のブリの扱いは30万尾くらい、2023年には70万尾を目標にしたい」と熱く語る小川社長の挑戦は止むことがありません。

ココがスゴイ! POINT

1
point

加工尾数 国内トップクラス

ブリ、カンパチを合わせて年間で40万尾を加工。数年後にはさらに倍以上の加工尾数にする計画です。

2
point

ブリの販売数 楽天ナンバーワン!

2020年に開設した『鯛屋金太郎 楽天市場店』。ロゴデザインやメッセージカードなど細部にもこだわり、今や1か月に1万件もの注文を受ける人気店です。

3
point

海外展開

早くから海外へも目を向けており、工場は国際衛生基準「HACCP(ハサップ)」に対応。急速冷凍技術による高い品質が評価され、アメリカやアジアを中心に輸出しています。



鯛屋 金太郎 楽天市場店



北浦ベースでの加工作業

当社の採用方針

必要としているのは素直で成長したいという気持ちの強い人。そんな思いを持った人であればしっかりと寄り添って成長を全力で応援していきます。



「鯛屋 金太郎」オリジナルロゴマーク

まずは4つの柱。そしてさらなる挑戦へ

会社設立当時は養殖魚を仕入れて売っただけだったのですが、現在は『国内販売事業』『海外輸出事業』『委託加工事業』『EC事業』、という4つの事業を行っています。今後はまず、この4つをしっかりと伸ばしていきます。

特にEC事業については、大きな可能性があると考えているので注力していきたいですね。そして、その先には、高い評価を頂いている「金太郎ぶり」をその場で食べられる飲食店や小売店の出店にもチャレンジしていく計画です。

代表取締役

小川 裕介
Ogawa Yusuke

1978年生まれ [延岡市出身]

さまざまな経営者の本を読むことが趣味。特に稲盛和夫氏と柳井正氏。中学、高校と野球少年だった経験を生かし、『新海屋ベースボールクラブ』にはゼネラルマネージャーとして関わっていく。



DATA

12 株式会社 新海屋
[業種] 食料品製造業

〒889-0301 延岡市北浦町古江鶴山2931-36
TEL.0982-45-4100 FAX.0982-45-4115

代表：代表取締役 小川 裕介
資本金：100万円
社員数：21名(2021年2月末現在)
創業年：2011年



<https://shinkai-ya.net/>



「仕事をやる上で大切にしているのは、「お客さまに高品質な魚を毎日届ける」という使命感です。そのためには毎日コツコツと努力を怠ることなく仕事に当たっています。」

製造部

13 安心して安全な 自社ブランド肉

8,800㎡のHACCP対応工場が強み
強みを生かした選ばれる商品で勝負!



敷地面積8,800㎡のHACCP対応の新工場



企業からのアウトソーシングにも対応可能



ローストチキン (丸鶏)



宮崎牛ハンバーグ



リニューアルした花ヶ島店



お客様で賑わう花ヶ島店

ココがスゴイ! POINT

2 point

ネットに強い
お肉屋さん

ネット販売

自社サイト、楽天、Yahoo! モールへの出店、ふるさと納税返礼品のお肉の発送など、インターネットを通じて宮崎のお肉を全国へ届けています。



エアシャワールーム



徹底された衛生管理

創業70年の信頼
ノウハウと
最新システムで

1 point

取引先は400社

食肉のスペシャリストとしてお客様の幅広いニーズに応え続けて約70年。取引先は増え続け、現在は宮崎市内を中心に400社と取引先をえています。

3 point

食の安心・安全を
企業・お客さまへ

HACCP対応の 工場が強み

国際衛生基準「HACCP」対応の食品安全適合証明を取得。食の安全を確保し、全国の企業から委託カットの依頼も増えています。

当社の採用方針

- ・会社の目指す方向と自己の役割を理解し、自己成長するための努力ができる人
- ・全てに情熱をもって行動できる人
- ・チーム一丸となって会社を盛り上げられる人

「安心・安全・おいしいを大切に、 自社の強みで勝負！」

先代からの卸問屋70年のノウハウと実績を生かし、食肉を取り扱うスペシャリストとしてお客様の幅広いニーズにお応えしています。

生産と販売の間に立つ私たちこそが「安心・安全・美味しい」の守り手であることを常に意識し、安全性やおいしさの面で「これならお客様にお出しできる!」と思える商品のみを販売しています。

すべてのお客様に本当の意味でお喜びいただける会社であることをモットーとし、信頼の構築、安心・安全の追究に努めて参ります。

代表取締役

新垣 幸洋

Shingaki Yukihiko

1971年生まれ [宮崎市出身]

小林一三の名言、「下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみる。そうしたら、誰も君を下足番にしておかぬ」が座右の銘。

食品安全 (JFS・B) 適合証明を取得

70年にわたり、精肉や加工品の卸・販売を手掛けてきた老舗。創業当初は町のお肉屋さんとして親しまれ、その姿を残しながら、県内外のレストラン、居酒屋、ホテルなどの店舗や企業との取引を引きを拡大してきました。現在では約400社と契約しています。

2006年には他社に先駆けて自社サイトや楽天、Amazonなどネット販売を開始しました。運営当初は制作会社の力を借りたものの、その後は社内ネット販売部門を設けて内製化。HPにアクセスしてもらうため、また消費者に役立つ情報を提供するため、消費者ニーズを捉え、お肉の下ごしらえや簡単レシピを紹介するなどの工夫も行って売上増にも貢献しており、これらのマーケティングは、「畜産王国宮崎」を県内外に広める重要な役割を果たしています。

2018年12月には、宮崎市倉岡ニュータウンに敷地面積8800平方メートルの新工場が完成し、本社機能を集約。2019年から稼働しています。新工場には、最新設備とともに、国際衛生基準「HACCP (ハサップ)」対応の食品安全 (JFS・B) 適合証明を取得しました。食品衛生管理が問われる昨今、消費者や



加工課

取引企業などのお客様に安心してお取り引きができるうえ、国内外にとどまらない商品開発などにもチャレンジできるようにになりました。

食の安心・安全を確立した『SHINGAKI』では、原料のカットに特化した技術も強みにしており、企業との取引を中心とした「B to B」のビジネスモデルにも注力しています。大手居酒屋チェーンやホテル、テレビショッピングなどへの加工肉の卸販売、大手食肉メーカーからの委託カットなどの受注も増えています。

「委託カットができる企業は宮崎にはまだ少ない。こういった仕事を受けることは、宮崎への貢献にもつながるはず。互いを高め合うためにも、HACCP工場としての強みを活かし、宮崎を拠点としながら全国の企業から求められる『SHINGAKI』として、成長し続けたい」と、新垣社長は語り、さらなる高みを目指しています。



相談がしやすい職場です。
お肉の知識やカット技術、
販売方法などが学べます。

宮崎・九州の素材を活かし 社員のアイデアが ネット通販で大ヒット

地域で捨てられているもの、
価値が低いと思われるものに
新たな魅力と付加価値をプラスし商品化。
多くの人に「ハッピー」を届ける



意見を出しやすい雰囲気づくりを大切にする社風



栄養価の高い食材を粉末状にした、
同社のヒット商品「まるごと離乳食シリーズ」

14

宮崎・九州産の素材を 健康・美容にうれしい食品に
商品の付加価値を高め地域資源のブランド力を高める

「地域資源革新でみんなを幸せに。」を経営理念とし、企業からの依頼に応じたオリジナルのサプリメントや化粧品の製造を行うOEM(他社ブランド委託製造)事業、宮崎・九州の食材を使った美容と健康にうれしい食品の開発・ネット通販事業を行っています。

廣澤直也社長は、大学進学をきっかけに広島から宮崎へ。在学時、日南市出身の友人が教えてくれた、日向夏に醤油を付けて食べる食文化にとっても驚いたことをきっかけに「地域資源に付加価値を付けたビジネス」を着想したといいます。「日向夏ひとつとっても皮に含まれている芳香成分や機能性成分など、捨てられるところにも価値がある。『誰が、どこで、どんな思いで作ったのか』などの商品ストーリーや希少性を分かりやすく伝え、イメージに合わせたデザインにすることで、より付加価値を高めた商品開発を行なっています」と、廣澤社長は話します。

OEM事業は、コロナ禍の近年で、通販会社やスポーツジムだけでなく、SNSで活躍する個人からの依頼も増えており、受注を伸ばしています。また、廣澤社長の母校である宮崎大学と共同で加工残渣を有効活用すべく、さまざまな研究・開発を重ね、オリジナル商品の開発にも力を入れています。

近年のヒット商品のひとつである「まるごと離乳食シリーズ」は、販売開始から1年半で15万袋を突破しました。廣澤社長発案のもと子育て中のスタッフの意見も取り入れ実現したこの商品は、鶏レバーをパウダー状にして製品化。調理方法も簡単で手軽に栄養素を補給できる便利さが子育て中のお母さんたちにフィット。SNSや口コミで広がり、現在、加速度的に販売が伸びています。青魚、納豆、野菜など食材を拡充し、シリーズ展開しています。

「この離乳食シリーズはきっかけにすぎません。今後は子どもの成長によって変化させる悩みや子育て中のお母さん自身の健康や美容、心にも寄り添えるような商品を生み出していきたいですね。商品開発においては顧客の声・市場のニーズも注視しつつ、社内からの意見も取り入れています。多彩なアイデアを取り入れることから付加価値が生まれると信じています。そして、社内には子育てしながら働く女性も多く、働きやすい環境づくりにおいては、制度を作ることよりも雰囲気づくりを大切にしています」と、話す廣澤社長。食はもちろん、人の温かさなど魅力いっぱい宮崎の良さをもっと知ってもらい、多くの人を笑顔にするため、「SUNAO製薬」の挑戦は続きます。

ココがスゴイ!

POINT

2 point

地域資源を活かした オンリーワンのものづくり

宮崎県産の素材を使った商品を中心に食品からサプリメントまで様々な商品を販売。フード・アクション・ニッポンアワード2019を受賞した『九州ドライベジ』、宮崎県と宮崎大学が長年研究してきたブルーベリー葉と、五ヶ瀬の釜炒り茶をブレンドした産学官連携開発商品『青汁shutto』、九州産の大豆やモリンガ、宮崎県産の粉末茶を使ったプロテイン『九州アミノシェイク』など宮崎の素材の可能性を追求しています。



1 point

まるごと離乳食シリーズ 累計販売 150,000袋を突破

販売開始から1年半で150,000袋を突破。SNSを使った購入者の口コミなどが追い風となり、人気急上昇中。鶏レバー、野菜、青魚などの栄養素を手軽に補給できる、子育て中のお母さんの強い味方に。

3 point

社員のアイデアを 商品化で大ヒット!

社内の取り組みで『商品アイデア募集箱』というものを行っています。どの部署に所属していても誰でも投稿でき、自分が考えたアイデアが商品化されるチャンスも!まるごと離乳食シリーズもここから生まれた商品のひとつです。

『地域資源革新でみんなを幸せに。子どもたちに明るい未来を届けたい』

当社は「地域資源革新でみんなを幸せに。」という経営理念のもと、地域資源を活用した高付加価値品の開発・販売に取り組んでいます。地域で捨てられているもったいないものや価値が低いと思われるものに付加価値を創造する。それを全国・世界で販売することで、つくった人も売った人も買った人も使った人もみんなをハッピーにして地域を元気にできると考えています。

この想いに共感してくれる仲間とともに、持続可能な地域社会の発展に貢献し、子どもたちに明るい未来を届けられるよう尽力してまいります。

代表取締役

廣澤 直也
Hirozawa Naoya

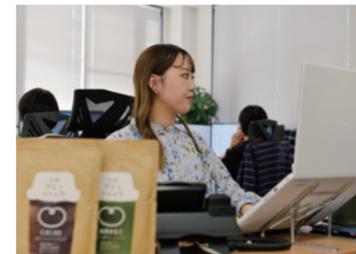
1981年生まれ [広島県三原市出身]

趣味はおいしいお酒を飲み、おいしいものを食べること。また、それを消化するために青島太平洋マラソンに出場すること。座右の銘は「ポジティブ」。



「ありがとう!」「いいね!」で溢れている会社です。「Mostいいね!Player」の略「MIP」授賞式を月初に開催し、1カ月でいいね!素敵だね!と思った人を社員同士で投票し合います。同僚の手書きのメッセージで、自分の新たな一面を発見できる毎月の楽しみになっています。

通信販売事業部



女性、子育て中の人など誰もが働きやすい会社を目指す



オシャレな雰囲気の社内で、社員もオシャレ心を大切にしている

当社の採用方針

お客様、仕事関係者、仲間や家族に言葉や行動で感謝を伝えられる人。困っている仲間には快く、周りに気を配って率先して協力できる人。変化が激しい今の時代に大きな力を生み出せる、どんな困難にも前向きに取り組める人。こんな人をSUNAO製薬は大歓迎します。



DATA

14 株式会社 SUNAO製薬
[業種] 無店舗小売業

〒880-0866 宮崎市川原町6番21号
TEL.0985-26-2210 FAX.0985-26-2215

代表: 代表取締役 廣澤 直也
資本金: 100万円
社員数: 18名(2021年6月末現在)
創業年: 2011年



<https://sunao-seiyaku.com/>



IT戦略立案で企業の課題を ワンストップで解決 幸せを創造する ベストパートナーに

IoTやAIをはじめとする、ICT技術を活用した企業づくりで
これからの高齢化社会による人材不足に対応



【導入例】コンセプト：独自の強みを発信 業界のイメージを変える



【導入例】コンセプト：企業特徴や技術の発信力強化



日本の中小企業を元気にするため、
進化するIT技術に挑む

コンサルティング、クラウドサービス（CRM「顧客管理」、SFA「営業支援」、Webサイト制作やシステム開発、ネットワーキングなど）、IT・Webに関する事業を幅広く提供しているスパークジャパン。人材不足やコミュニケーションなどの問題を解決し、企業の業績アップにつながるお手伝いを行っています。

学生時代、アルバイト先で得た知識を武器に『オカダオート』を創業した岡田社長。車検代の大幅値下げに成功し、顧客を増やしていきました。しかし、先物取引で失敗、「利益も大事だが、それ以上にすべての人が幸せになる事業をスタートさせたい」と考えるようになります。その後、インターネット事業の未来に可能性を見出し、1997年に『スパークジャパン』を創業しました。

以来、業績は右肩上がり、岡田社長一人で立ち上げた会社は、今や約80名を超すIT集団へと成長しました。「当社には、コンサル・デザイン・開発・ネットワーキングなどITの各分野のエキスパートが在席しており、ワンストップでサービスを提供しています。それぞれが一体となって顧客のビジネスを分析・理解し、成功へと導いています」と岡田社長。航



空・メディア・医療・大学など業界ごとの最適な改善提案を強みにしており、顧客の成功をゴールに掲げています。

近年では、世界No.1のクラウドサービスを活用した営業効率化や、コンピュータ上の作業を人の代わりに自動化するRPA、AI・OCRでの業務効率化など、新しい技術も積極的に研究・活用しており、クラウドサービスと業務アプリケーションのハイブリッドシステムの提案や、企業のブランド化とマーケティングを促進するためのサービス提供にも力を入れています。

ITの技術は日進月歩で進化しており、社員には新しい技術や取り組みへのチャレンジを推奨しています。将来は県外からの受注を増やし、地元雇用を生み出すことで循環型経営システムを構築することを目指していきます。

ココがスゴイ! POINT

1 point

IT技術プロ集団の ワンストップサービス

コンサル・デザイン・ネットワーク・システム開発までITの各分野のエキスパートが在席。ワンストップでサービス提供できるので、スピーディーかつ高品質に企業の課題を解決できます。社内エンジニアは複数の分野を経験するスタッフも多く、全方向的な解決提案が可能な体制です。

2 point

お客さまを フルマネージド サポート!

航空・製造・運輸・メディア・医療・警備・大学・自治体など、多くの業界での取引実績が豊富。蓄積したノウハウで、お客様の成功（発展）に向け、投資対効果が最大となる提案と運用を行う「フルマネージドサポート」を提供しています。

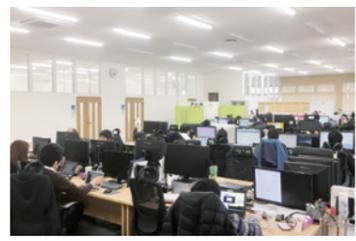
3 point

キャリアチェンジ ができる!

部署の枠組みにとらわれず、ITの職種（キャリア）チェンジがしやすい環境を整えています。また、新卒や未経験者でもIT業界のイロハが学べるよう、社内の業務に関する育成コンテンツも充実させているところです。



IT技術プロ集団が多数在籍



圧迫感のない天井が高いオフィス（本社）

当社の採用方針

私達の経営理念、事業を通して社員や取引先の幸せを追求し、社会にも幸せの循環を創ってきたいという「Create Happiness!」の想いに共感し、共に成長し続けてくれる方をお待ちしております!

宮崎をアジアのシリコンバレーに

1997年の創業以来、一貫して「中小企業のコミュニケーション課題を解決するためにITを活用して、お客様の業績向上に貢献する」ということを目指してきました。宮崎生まれのIT企業として、宮崎に多くのITエンジニアが集まり、宮崎で一人でも多くの雇用を生み出し、アジアのシリコンバ

レーと呼ばれるようにしていきたい。そのために、日本の中で99.7%を占める中小企業が抱える課題を明確にし、解決できるサービスやプロダクトをこれからも創り出していきます。これらのチャレンジによって、全国に向けサービス提供し、成長していきます。



代表取締役社長
岡田 憲明
Okada Noriaki

1974年生まれ [宮崎市出身]
趣味 ゴルフ、サーフィン、トライアスロン
座右の銘 為せば成る 為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり

DATA 15 スパークジャパン 株式会社
[業種] 情報サービス業
〒880-0844 宮崎市柳丸町85番地
TEL.0985-31-9171 FAX.0985-31-9182
代表：代表取締役社長 岡田 憲明
資本金：3,250万円
社員数：90名(2021年8月末現在)
創業年：1997年
https://www.sparkjapan.co.jp/



Voice!
お客様の想いや期待と一緒に
応えてくれる仲間がいたので、
ここまで成長することが出来ま
した。
これからは、「応える」軸は変わらず、
“応える”幅をお客様から地域に
広げていきたいです。
CX部

飼肥杉製品のブランドを高め 売上を伸ばすことで 社員の幸せを追求

最新の設備を導入するなど
製材業では県内有数の同社
その成長を支えるのは
社員への社長の思いと
それに応える社員でした

16



同社の飼肥杉製品がふんだんに使われた木のぬくもりを感じる家



高嶺木材の自慢の社員

全社員を幸せにすることが会社の使命

生産量日本一を誇る宮崎の杉。中でも400年もの歴史がある飼肥杉は、弾力性に富み、湿気にも強いなどの特長から重宝されてきました。

その飼肥杉を中心に製材・加工を行う同社。住宅の構造材やプレカット材の販売に加え、飼肥杉の特長を生かしたフロリング材などの商品開発にも力を入れています。

令和2年には高原町に22000坪もの新工場を設立しました。「伐採業者が市場に原木を運び、私たち製材業者は市場でその原木を購入するというのが通常の流れ。高原工場は敷地の半分を貯木場にしました。伐採業者様が直接原木を持ち込める環境を整えることで、少しでも地域に貢献できればと思ったのです」と高嶺清哲社長。業界全体の発展にも目を向けています。

父親の後を継いで令和3年に社長に就任した清哲氏が何よりも大切にしているのが社員への思いです。

建材商社福岡支店で営業をしていた清哲氏は、自身の成績も会社の業績も右肩上がりという順風満帆の日々を送っていました。そんな折、親会社の業績不振のありを受けボーナスをカットされた

といえます。

「はじめは『なんで』という不満だけだったのですが、しばらくすると自己嫌悪に陥って、『何のために働いているのか。何のために生まれてきたのか』と自問するようになりました。そして『幼い頃から見てきた高嶺木材で働く人を幸せにするのが私の使命』という結論に至ったんです」。

そうして宮崎へ帰郷した清哲氏は、世代交代や評価制度など、頑張った人がしっかりと認められる、働きがいのある職場を目指してきました。

「私たちが行っている事業は社員を幸せにするための手段であると考えています」と熱い思いを語る清哲氏。今後も全社員が夢とやりがいを持てる会社に向けて邁進していきます。



製品の品質管理

ココがスゴイ! POINT

1
point

自ら考え動く社員

一番の強みは何と言っても社員。世代交代を進めて要職に登用した若い人たちが成長を続けており、それに引っ張られるように社員みんなが自発的に動くようになりました。おかげで社員一体となって前を向いて進めるようになりました。

2
point

販売アイテムが多い

土木資材、構造材、下地材等の他に、杉材の壁板やフローリングなどの住宅の最終仕上げ製品まで製造・販売しています。そのため、販売先も幅広く流通業者様から施主様（エンドユーザー）までいらっしゃいます。

3
point

最先端の設備

作業効率の向上と作業員の負担軽減のために、建築する住宅ごとに必要な部材を自動でピッキングし梱包する最先端の自動倉庫やQRコードによる在庫管理システムを導入するなど最先端の設備を導入しています。

『全社員の物心両面の幸せを追求する会社へ』

宮崎へ帰った当時の当社は、設備投資を積極的に行い規模拡大に重点を置き取り組んでおりました。工場稼働率を上げるため、一生懸命自社製品の販売に取り組み、販売が安定し潰れない会社へと階段を上がっていると自負するようになり、それが社員の幸せへつながっていると思っていました。

しかしそれは、思い違いだったのです。

「潰れない会社だけでは、社員の幸せではない。社員の生活が豊かになり、仕事にやりがいを見いだせなければ幸せではない」と思うようになりました。

管理職の世代交代も進み、若い社員も数多く入社してくれるようになりました。

これからも社員が「高嶺木材で働いて良かった」と思えるような会社を目指していきます。

代表取締役

高嶺 清哲

Takamine Kiyonori

1974年生まれ [日南市出身]

「人のために生きること」をモットーに社員と家族をなによりも大切にしている。

Voice!

木は生き物なので加工するのも一筋縄ではいきません。でもそこが面白いところ。いつも「自分はどこまでできるのか」というチャレンジ精神を持って仕事に取り組んでいます。

製材部



機械化にも積極的に取り組む





豚舎施工例



プラズマ切断機による加工

現場のニーズに応える 商品開発で 畜産業界に貢献

畜産設備資材や畜舎の
スペシャリストとして畜産農家と
共に歩み続ける同社
デジタル自動化された
システム畜舎の構築に挑みます



畜舎空調設計

顧客からのさまざまな要望にも応えられる
確固たる技術力と商品開発力

創業以来、半世紀近くにわたって南九州の畜産業の発展と共に歩み続ける同社。畜産農家の力になれるよう、以下のような事業を展開しています。

- 畜産現場に即した総合的商品の取り扱い
- 利便性向上のための特注加工品の製造
- 畜産設備資材、装置の施工・据付
- 輸入資材等の販売・メンテナンス
- システム畜舎の新築工事

営業圏は九州にとどまらず、東日本に拠点を設け全国各地に展開しています。

同社の社訓に、「お客様に使いこなしていただける仕事と努力」という項目があります。顧客からのさまざまな要望に応えるべく新製品の研究開発に積極的に取り組んでおり、これまでに多くのオリジナル商品を送り出してきました。

中でも、トイレットペーパーを巨大化したような斬新なデザインかつユニークなネーミングの「ひよこロール」は、手の掛かる給餌時の紙の取り換え作業が不要になる実用的な商品で人気を誇ります。「お客様の困り事を解決するために動くこと」が、商品開発の源となるそうです。

2020年度には、次の一手として畜舎のデジタル自動化のための制御盤製造室を新設。業界の総合的なノウハウの集積を図り、畜産農家の利益を創出する総合的なシステムの構築を目指しています。

今後もさらに創意工夫・発想の転換を繰り返しながら顧客のニーズを掘り起こし、それに対応できるように地道な努力を重ねていくという同社。

「新原産業が創り出し発信する『ものづくり』で、お客様に喜んでいただきたい。そして、農畜産業が技術革新によってこれまでのイメージを一新した魅力的な産業として伸びていくためのお手伝いがしたい。そうすることで農畜産業の楽しさややりがいなどを広めていきたいですね」と、新原社長は話します。農畜産業界全体のメーカーとして成長し、さらなる発展を目指しています。



自動空調システム

1
point

数々のアイデア商品

「ひよこロール」「目張りポリスルー」「とんとんスプレー」「かるがる君」「ベッターン」「ダンガード」「爽快扇ひろがるん」「トンネルクールシステム」「白壁くん」「3ライン空調システム」など、お客様に寄り添い農畜産資材として欠かすことのできない様々なアイデア商品を展開しています。

3
point

業界でも トップクラスの 有資格保有者数

第一種電気工事士2名、一級建築士2名、
第二種電気工事士3名、二級建築士
2名など、優秀な有資格保有者の
多さが自慢です。

ココがスゴイ! POINT

2
point

オーダーメイドも 含めた 圧倒的な販売実績

インバーター：年間600台、羽根径1mサイズ・50cmサイズの換気扇：2,500台、LEDランプ：30,000個などの売れ筋商品を中心に取り扱いとともに、「給餌器」「スクレパー」「スクリュウコンベア」「換気扇フード」「保温箱」など、オーダーメイド製品の製造も積極的に進め、現在10,000アイテム超の総合的畜産資材を取り扱っています。



取扱電機設備資材の数々



当社の採用方針

研究開発に興味のある人はもちろん、営業やものづくりの現場、輸入などさまざまな分野に関わる人を募集しています。チャレンジ精神のある前向きな人を求めています。

デジタル自動化システム畜舎の構築で 畜産農家にトータルで貢献

デジタル自動化されたシステム畜舎の構築を目標と致します。今迄も数多くのアイデア商品群を創り出してきましたが、お客様の生産活動にトータルで貢献できるメーカーとしての体制作りを重点を置きます。また、農畜産分野は未開発の部分が多いので、新しい発想と食文化の礎となる農畜産の発展に寄与する役割を担い、おもしろさとやりがいのある会社ナンバー1を目指します。

成長期待企業の認定に当たり、社会的責任の重さをしっかり受け止め、お客様のニーズに応える企業として技術・サービスアフターフォロー面、次なる進化への体制作り、専門部門の確立等の体制作り注力します。後継者と組織としての後継の体制(社員教育、機能する組織)づくりも大事だと考えています。社内に「畜産総合研究所を構築する」という思いを実現するために、お客様が求める商品開発を展開していきます。

代表取締役社長

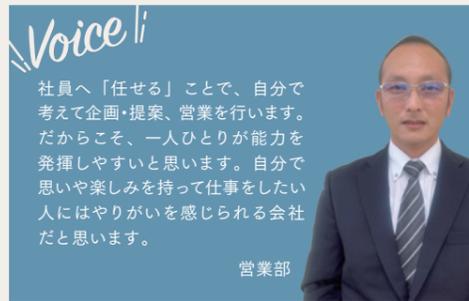
新原 弘二

Nihara Koji

1947年生まれ [鹿児島県川内市出身]

「ニーズはアイデアの源泉である」を信念に、「創る心」を大切にしています。

趣味は読書や絵を描くこと。「第1回みやざき総合美術展 絵画部門」に入選。



営業部

社員へ「任せる」ことで、自分で考えて企画・提案、営業を行います。だからこそ、一人ひとりが能力を発揮しやすいと思います。自分で思いや楽しみを持って仕事をしたい人にはやりがいを感じられる会社だと思います。





28拠点で全国展開



「みんなでHAPPYになろう」の理念のもと一人ひとりが活躍しています

当社の採用方針

弊社は年齢や社歴に関係なく、成長意欲の高い方を歓迎します。新たなステージとともに挑戦を楽しんでみませんか。採用に関する詳細は弊社HPをご確認ください。

ココがスゴイ! POINT

2 point

不動産関連ソフト
導入実績

6,390社

2021年6月末日時点における導入実績は6,000社以上(無償サービスを除く)。全国各地の不動産会社で導入されています。

1 point

マザーズ上場

2020年7月31日に東証マザーズへ上場。宮崎県の企業としては6社目となります。今後もここ宮崎の地から、日本の不動産業界の力になり続けます。

3 point

賃貸管理ソフト
ランキング1位

全国賃貸管理ビジネス協会のWEBアンケート調べによると当社製品が今、最も利用されている賃貸管理ソフトという結果が。不動産会社の強力なサポーターとして実績を積んでいます。



賃貸物件総合管理システム「賃貸革命10」

本質をついた商品開発で 不動産業界に IT革命を巻き起こす

業務効率化のアプリケーションソフトや集客ツールなど
顧客に感動される商品サービスを提供

不動産業界の強い味方 情報技術を駆使して業績を伸ばし続ける

創業から28年、不動産業界に特化したITソリューションを開発・提供している同社。都城に本社を置きながら、東京・大阪・名古屋など全国サポート28拠点での地域に密着したサービス提供により、事業拡大を続けています。

まだパソコンが普及していない時代に、「これからはパソコンのビジネスが伸びる!」と独学でプログラミングを習得した米津社長は、1994年に同社を設立。「進化する情報技術を活かして付加価値の高い新たなプロダクトを創造し、社会に貢献したい」という想いを胸に、不動産業界の悩みを解決すべく事業をスタートさせました。

以来、「創業以来業績が落ちたことはありません」と米津社長が話すように着実に売上を伸ばしています。

取り扱っているソフトウェアは、物件や契約情報等を管理する「賃貸革命」や、物件と見込み客をマッチングする「売買革命」、知識がなくても簡単に不動産ホームページが作成できる「Web Manager Pro3」など約20製品があり、中でも「賃貸革命」は賃貸管理システム部門の調査において第1位に選ばれているなど、業界内で高い知名度を誇っている。

ます。導入している会社は全国6390社にもおよび、ユーザーからは「おかげで社内業務の効率も品質も高まり、社員のモチベーションも上がっている」といった声も寄せられています。

企画から販売、サポートまですべてを自社で行っているのも同社の強み。顧客からの膨大な情報を集積することができ、その情報を次なる商品開発に反映させられるのです。2020年5月には新型コロナウイルス感染症拡大を受け、お部屋探しから契約までをオンラインで行うことができる「非対面仲介サービス」をリリースしています。

「都城という地域を若者が残る街にしていきたい」という目標を掲げ、さらなる知名度向上、そして地域活性化への意欲を燃やします。



ITを通じて不動産業務のお悩みを解決します

不動産領域の方々の必要不可欠な存在に

当社は中期ビジョンとして「テクノロジーで不動産領域に革新的プラットフォームを創造する」と掲げております。今後もこの様な社会の変化と不動産業界の変化に対して、変わりゆく不動産取引の形態をよりスムーズに行えるようなサービスを提供するとともに、不動産テック企業として、不動産業界のDX推進に

貢献し、不動産市場の活性化により社会経済の発展に寄与できればと考えてのことです。

この実現のために引き続き努力をして、不動産領域の方々へ必要不可欠な存在となるよう、役員はじめ従業員一丸となって一層精励してまいり所存でございます。

代表取締役社長

米津 健一
Yonezu Kenichi

1963年生まれ [鹿児島県財部町出身]

息抜きはゴルフ。普段なかなか運動する時間が取れないので、週末はあえてゴルフで体を動かすように心がけている。



DATA 18 日本情報クリエイト 株式会社
[業種] 情報サービス業

〒885-0072 都城市上町13街区18号
TEL.0986-25-2212 FAX.0986-25-2213

代表：代表取締役社長 米津 健一
資本金：719,403,200円(2021年6月末)
社員数：266名(2021年6月末現在)
創業年：1994年



<https://www.n-create.co.jp/>



基本的にチームで動いているので、みんなで協力し合えるのが強みですね。やりがいはお客様の事業への貢献。効果や反応がダイレクトに感じとれる提案営業だからこそ面白みがありますよ。

営業部

長年愛され続ける商品を大切に、 海外へ販路拡大

全国観光土産品連盟推奨商品として
長年愛される「タルタルソース」や「おつまみ鶏皮」
HACCP対応と生産能力増加に向けて工場を増築



「おつまみ鶏皮」製造ライン



海外輸出は目標売り上げ額の約3倍を達成
「おいしさ」にこだわり、国内外のお客さまから支持

1985年より、鶏卵卸売業、惣菜製造、食品加工を行う同社。人気急上昇中の『おつまみ鶏皮』シリーズや炭火焼き、豚軟骨煮込みなど数ある商品の中でも、『南蛮用』『フライ用』『手作り風』と作り分け

るほどにこだわるタルタルソースは、長年愛され続ける同社のベストセラー。

同社のタルタルソースをおいしくする開発ポイントは、

①食材の食感を出来るだけ残す
②手作り感を大切にし、機械化しすぎない

③フレッシュ感を出すために冷蔵品にという3点。こちらも人気のマリネソースと共に各地の展示会や頒布会で好評を博しており、こだわりが詰まったおいしさから、全国の小売店や飲食店でも取り扱いがあり、手にして食すお客さまから支持を得ています。また、全国観光土産品連盟の推奨商品にもなっています。

また、オリジナル「タルタルソース」を作りたいお客様向けに、独自ブランド（PB）開発や他社ブランド委託製造（OEM）にも力を入れています。

PB・OEMの依頼を受けた際は、その地域の食材を中心にレシピを考案するなど、提案から開発、製造まで一貫

して行います。小ロットにも対応していることも喜ばれ、着実にお客様を増やしています。
そんな同社が、近年力を入れているのが海外輸出です。すでに香港、台湾、シンガポール、アメリカに販路を築いており、今後もHACCP（ハサップ）対応の新工場による生産体制の強化と、新商品開発の体制を整えることで、さらなる販路の拡大を目指しています。
「今年、海外輸出売上上げは、目標額の約3倍に達しています。大きな手応えを感じの中で、すでに輸出しているエリアを中心に、さらに取引先を増やし、輸出量を増やしていきたいですね」と竹森社長の海外展開への期待は高まります。



こだわりが詰まった「タルタルソース」製造

ココがポイント!

1 point

人気急上昇 おつまみ鶏皮

鶏や豚肉生産が盛んな宮崎県で、立地を生かして原料を仕入れ、調味料を独自に配合するなど、他社にはない工夫で加工しています。全国推奨観光土産品審査会において全国的に優秀な観光土産品としても認められ、全国に展開しています。販売を開始して4年目の商品ですが、当社第二の看板商品として大ヒットしています。

3 point

お客様オリジナルの タルタルソースを 小ロットでの PB・OEM (独自ブランド)(他社ブランド委託製造) にも対応

お客様のご希望に合わせて、小ロットでのPB・OEMの製造が可能です。トレース管理（履歴情報）にてトラブルに迅速に対応しています。緊急対応に応えられる機動力のある製造体制です。

2 point 当社の定番商品 タルタルソース

長年愛され続けている当社の看板商品。こだわりの製造方法と冷蔵だからこその味わいです。



社員が自ら考え高め合える組織に

ビジョンを明確にして全社員で共有することで、社員一人ひとりが自ら考えてレベルを高め合う会社になりたいと思います。その上で、成長期待企業として受ける様々な支援策を最大限に活用し、県内外へのアピール強化を図っていきます。

代表取締役

竹森 兼富

Takemori Kenetomi

1957年生まれ [都城市出身]

座右の銘は「真心をもって人と接す」「感謝」。
休日にはゴルフを楽しんでいます。

Voice li

熱心な社員教育により、自ら考え意見することやリーダーシップなど、社会人として、企業の一員としてスキルアップできる機会が多く、働きがいがあります。福利厚生も充実しています。

製造担当者



厳格な品質管理



19 ネオフーズ竹森 株式会社
[業種] 食料品製造業

〒889-4601 都城市山田町山田3983番地7
TEL.0986-64-0197 FAX.0986-64-0408

代表：代表取締役 竹森 兼富
資本金：1,000万円
社員数：71名(2021年3月末現在)
創業年：1985年



<https://www.takemori-marinade.jp/>



「アイデアで勝負する仕事は環境も大切」と、リゾートホテルのような事務所内



宮崎から全国へ！
全国でもヒットする自慢の商品を展開



「鶏炭火焼」「手羽とオリーブ」
「手羽煮」など 日向屋の代表商品

宮崎・門川町を拠点とし全国へ！ こだわり抜いた「食」への情熱を届ける

宮崎の定番土産品「鶏炭火焼」を考案。
創業当時から現在まで、変化する市場ニーズをキャッチして商品開発

設備・調味料までオリジナル！
食材の良さを最大限に引き出す商品開発力が武器

全国で販売されている鶏手羽商品、鶏炭火焼、肉巻きおにぎりなど、レトルト食品の開発・製造・販売を主力とする「日向屋」。創業当初は中古のレトルト設備を導入し、社長ひとりでも商品開発をする試行錯誤の日々でした。宮崎の定番土産品となつている「鶏炭火焼」を、約20年前に商品化し販売。鶏の炭火焼きレトルト商品の先駆けとして、今でも同社の人気商品のひとつなっています。

専門原料である親鶏を最大限おいしく商品化することを目標に、加工力を磨き続けています。歯ごたえがあることが特徴の反面、ネックでもあるため、レトルト加工と組み合わせる柔らかく仕上げ、さらにこだわり抜いた調味を施すことで付加価値を高めることに力を注ぎ、さまざまな商品を生み出してきました。大手食品メーカーのOEM（他社ブランド委託製造）をはじめ「日向屋」の商品は全国のスーパーやコンビニなどで販売され、全国へ広がりました。さらに日本のみならず香港やオーストラリアでも流通し、海外展開も行なっています。

営業・商品開発などを担当する請関仁専務は「多様に変化する市場のニーズ、お客様の声を拾い、パッケージの新装や常温で保存できるなど機能面の変更、添加物を使わない健康志向商品の展開など商品開発に反映させています」と話します。

「素材の良さを最大限に引き出すため、商品の使うタレや塩こしょう、ポン酢などの調味料も独自に開発。また、製造で使用する設備も、社長自らが考案し設計・開発したオリジナルを導入するなど細部までこだわっています。その強い情熱と高い開発力、製造技術が他社商品との違いを生み、付加価値を高め、全国で勝負する選ばれる商品を生み出しているのです。」

1 point 月間 17万パックを 販売する主力商品

創業初期から約20年間販売している主力商品「鶏炭火焼」は、素材の良さを最大限に生かすため、研究を重ねた調理法で製造しています。自社工場で作る味付けダレも自慢です。

3 point 調味料まで こだわった商品開発

オリジナル調味料を開発し、親鶏のうまみを最大限に引き出します。調味料（アミノ酸）は使用しません。お客さまの健康と笑顔につながるよう、心を込めて製造しています。



ココがスゴイ！ POINT

2 point

1日3トンの 鶏肉を焼き上げ 独自の炭火焼 焼成機

同社社長が考案し、設計・開発した独自の設備で「炭火焼」を行なっています。素材に絡めた調味料が逃げない強い火入れを可能にしました。また独自の設備は素材の味を極限まで引き出します。



安心と安全を届ける丁寧な検品作業



レトルト殺菌装置などの最新設備で生産率も向上



徹底した衛生管理、設備も整備

強い信頼と協力が生み出す輪の中で、能力を発揮

「信頼」と「協力」を基本方針として日々仕事をしています。人は太古より組織の大小を問わず集団や組織を形成する時、各々の身を守る手段として、自然発生的にこの信頼と協力を感じて活用してきました。そして、その内容や強さが組織の安定や、生み出す結果として示されてきました。現代でも小さな集団が家族であり、また会社組織も身近な集団のひとつです。国際化・情報の高速

化によって変化の激しい現在において、日向屋は強い信頼と協力によってつくられた輪の中でこそ、自分たちの安心を得て、持てる実力を発揮し、それぞれの能力を開発できると信じています。

日向屋では、働く人全員が、愛する家族のために日々料理を作る同じ気持ちで製品を作り、そして我々の製品がお客様の健康と笑顔につながることを使命としています。

代表取締役社長

請関 伸

Ukezeki Shin

1963年生まれ [門川町出身]

趣味はサーフィン。2021年6月に新装した新社屋内にもサーフボードを飾っています。



Voice !!

どんな仕事も無理と思わずチームワークでどうやるか考えて取り組んでいます。さまざまな意見を受け入れてくれる社風で、一人ひとりを伸ばしてくれる寛大さのある社風です。

製造部課長



新領域への挑戦 表面処理の力で世界を動かす

環境に配慮した最先端の技術と品質で
時代のニーズを先取りし、
新しい価値を生み続ける



環境に配慮した最先端の技術



金属に自然藍を含んだ染料を染みこませて着色する
「カラーアルマイト技術」を用いた商品

業界屈指の技術力で
顧客のニーズに対応した製品をタイムリーにお届け

1952年に創業したマイクロエース株式会社。自動車部品、航空機部品、半導体関連部品など幅広い業種でめっきを中心とした表面処理を手掛けています。表面処理技術を活かし、GPSの位置情報精度の格段の向上や航空機の炭素繊維の再利用技術構築をはじめ、スマートフォンの使用される電子チップ部品の小型化・高性能化を実現した「RZMシリーズ」で高精度表面処理を可能にするなど、数々の製品を生み出しています。「これまでも独自の戦略で他社との差別化を図ってきましたが、現在は生産効率を上げるため、めっき業界で初の試みとなるロボットの導入計画にも挑戦しています」と柳社長。2007年には「有害物質を使わない」+「排出しない」をコンセプトとしたTRC（テクノリサーチセンター）工場を新設。フェイルセーフシステム（誤作動・誤操作対応型）の排水処理装置や、鉛フリー・6価クロムの代替処理液の導入・開発で、環境への負荷物質の削減を目的とした表面処理の新技术にも着手しています。

近年は、多数の研究開発員を登用し、産学官連携の研究開発にも力を入れている同社。「表面処理で世界を変える技術」を

展開し特許申請論文を発表したことで、世界の大企業からの問い合わせも増えています。また、めっき表面処理装置を10ライン、アルマイト設備6ラインを保有するなど国内でも最大級の処理能力を誇り、国産車のルーフレール、大型バイクのスイングアーム、パソコンの筐体の表面処理等にも採用されています。「世界の大手企業が驚くほどの技術開発、それを発信できる環境があることを宮崎の若者に伝えたい。これからも豊富な経験と蓄積された技術を活かし挑戦し続けたい」と柳社長。海外でのさらなる事業領域拡大を目指します。



常に革新的な開発でオンリーワンを目指す

1 point

世界に誇る 研究開発力

2019年、同社の研究員が世界の科学者2000名に選ばれました。社員の成長をサポートするため、資格取得ができる環境を整えています。また、年間10件以上の特許取得を目指しています。

3 point

大型バイク筐体 表面処理シェア 国内90%・ 世界30%

大型バイクの筐体（スイングアーム）の表面処理における当社のシェアは、国内の90%、世界でも30%におよんでいます。

ココがスゴイ！ POINT

2 point

表面処理技術に
高い評価

経済産業大臣賞を受賞

2006年、全国の一モノ作り中小企業のなかから、経済産業省が初めて実施した、第1回「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定され、表彰を受けました。我が国産業の国際競争力を支える企業として認められました。



研究開発にも注力

当社の採用方針

- 求める人物：前向きに挑戦する方。向上心、行動力のある方。
- 採用方法：適性試験・一般教養試験・面接(会社見学可)
- 勤務時間：8:05~17:10(休憩70分)
※時間外約10時間程度/月
- 年間休日：100日

表面処理技術で世界を変える

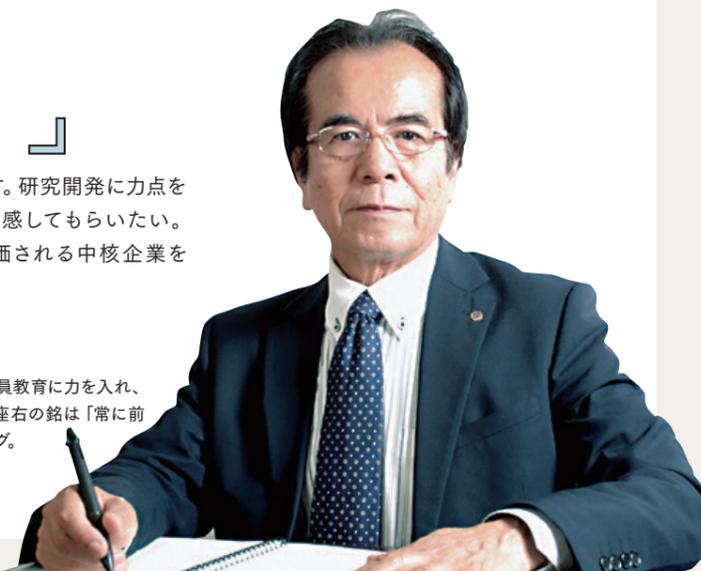
小さな大企業を目指し、世界に通用する企業づくりを目指しています。研究開発に力を置き、世界の大企業が振り向き技術の研究開発を宮崎の若者に実感してもらいたい。県内の雇用を拡大し、外貨獲得、県内取引先を拡大し信頼され評価される中核企業を目指し邁進したいと思います。

代表取締役

柳 義一
Yanagi Yoshikazu

1950年生まれ [宮崎市出身]

日向学院一葉工業大学金属工学科卒業。社員教育に力を入れ、個々の能力を引き出し活躍の場を広げたい。座右の銘は「常に前を向き前進」。趣味はゴルフ、カメラ、ランニング。



Voice!

開発の仕事に初めは不安もありましたが、先輩の丁寧な指導もあり、少しずつ力がついてきました。製品を納入後、お客様に感謝された時にはやりがいを感じますね。資格取得支援制度もあるので活用しています。

研究開発本部



21 ミクロエース 株式会社
[業種] 金属製品製造業

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町京出1411-1
TEL.0985-25-4696 FAX.0985-25-4331

代表：代表取締役 柳 義一
資本金：5,000万円
社員数：87名(2021年7月末現在)
創業年：1952年



<http://micro-ace.co.jp/>

22



田舎だからこそできる

“ものづくり”

鋼塊は姿を変え大空へ!

九州初のJISQ9100取得
付加価値の高い航空機部品を製造



高度な技術で大型の精密部品も製造



リスクを背負って挑んだ航空機部品製造
その原動力は自社品質への自信

特殊鋼鋼材の販売や機械部品加工を行っているミツワハガネ株式会社。航空機の離発着時に使われる降着装置部品の製造を始め、航空機部品製造、精密機械部品製造・組立、特殊鋼鋼材販売の3部門で業績を伸ばしてきました。

1959年、延岡市三瀬町にて一般建築用の鋼材販売を主業務とするミツワ鋼材として創業。途中経営難に陥るも、必死の販路開拓から徐々に売り上げを伸ばしてきました。しかし、大手企業の介入で価格破壊が起こり、安さ以外では評価されない日々を虚しさを感じるようになったといいます。

この状況を打破するため、特殊鋼鋼材販売から機械加工に進出した同社は、1998年にミツワハガネ株式会社から航空機部品製造の話をもちかけられます。

「当初、田舎の鍛冶屋がわざわざリスクを背負って参入する必要があるのかという声もありましたが、鋼材の品質には自信がありましたし、付加価値を付けて人に評価される加工品の製造に挑戦したいという気持ちの方が勝っていました」と甲斐会長。

航空機部品をつくるために欠かせない、品質マネジメントシステム「JISQ9100」を九州で初めて取得しました。これまでに培った豊かな経験と独自の技術力で、最新鋭の設備を駆使し、九州、近畿地方をはじめ、全国から輸送機器関連（航空機部品、自動車部品など）、産業機器関連（食品加工機器、製鉄関係、半導体装置など）の多種多様な部品を受注製造しています。

さらに、顧客満足度の向上及び一貫した製品・サービスを提供するため国際規格「ISO9001」も同時取得。今後さらに関西営業所開設、航空機部品製造工場の新設で勢いを増し、安定した高品質・高精度な製品を供給していきたいと意気込んでいます。



多種多様な部品を製造

ココがズゴイ!
POINT

1 point
県内トップクラスの
商品の年間出荷数
特殊鋼鋼材販売
約100,000点
精密加工部品
約70,000点
航空機部品
約1,000点

常に顧客のニーズに寄り添い、小さいものから大きいものまで、多種多様な製品を販売・出荷しています。

2 point
卓越した
技術と信頼で
航空機部品を製造

航空・宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格JISQ9100を取得し、エアバスA330-340旅客機や国内外のリージョナルジェット機等に使用される降着装置の部品などを、徹底した品質管理のもとで製造しています。



航空機部品も製造

3 point
地域社会からの
期待と評価

「宮崎県地域中核企業」「地域未来牽引企業」
「宮崎銀行ふるさと振興基金 産業開発部門」
「元気なものづくり中小企業300社」
「宮崎県中小企業大賞」などを認定および受賞しました。



「かたちのないものをカタチにする」

「かたちのないものをカタチにする」ものづくりは、「ものをつくる人」や「ものを使う人」など、様々な形で人々の夢や希望を叶え、幸せを創造する原動力となります。

宮崎県の地域中核的企業として、私たちは、これまでに培った特殊鋼鋼材に関する専門知識と卓越した製造技術を継承し、それを後世に継承するべく日々努力し、学び続けます。また、地域の皆様に愛され、貢献できる企業を目指し、より一層精進してまいります。

代表取締役社長

吉ノ蘭 順也
Yoshinosono Junya

1975年生まれ [延岡市出身]

座右の銘「ものは見方によってすべてが変わる」。
ものは、見る角度など視点を変えることで、影や形、周りの景色までもが違って見える。捉え方を変えれば、物事の見方は変わる。

DATA

22 ミツワハガネ 株式会社
[業種] 生産用機械器具製造業

〒882-0071 延岡市天下町1213番地622
TEL.0982-23-5234 FAX.0982-23-5010

代表：代表取締役社長 吉ノ蘭 順也
資本金：1,000万円
社員数：55名(2021年3月末現在)
創業年：1959年



http://www.mitsuwa-hagane.co.jp/



Voice!

一番の魅力はものが形になる楽しさを味わえること。上下左右のコミュニケーションが円滑で、技術のスキルアップにも楽しく取り組んでいます。教育訓練に会社の全面バックアップがあるのも心強いです。

製造部長



地元への恩返しのため、工場には観光客も受け入れている



「地域と職人の手」で醸す味づくり

ビールを通じて 地域を元気に

地元素材と自家培養酵母を使った
クラフトビールで
世界からも高い評価を受ける同社
ビールづくりの根底にあるのは
地域への熱い思いでした



地域にこだわったラインナップ

延岡、宮崎、そして九州のために

奇岩絶壁（きがんぜっぺき）がそり立つ行徳山（むかばきやま）の麓。豊かな自然の中に位置する同社では、上質な天然水とフレッシュな自家培養酵母を使用したクラフトビールを製造しています。

平成8年、全国的な地ビールブームに乗り地元企業が立ち上げたひでじビール。独自の味づくりに取り組み、さまざまなコンテストで賞を獲得するなど先が見え始めた矢先、本体事業の不振もあってビール事業からの撤退が決定します。

当時、ビール事業部の統括だった永野社長は、「一からつくりあげてきた自分のビールを残したい」と死にもの狂いで支援先を模索。地元金融機関の協力を得て、従業員による企業買収（EBO）により、平成22年に新生「宮崎ひでじビール」がスタートしました。

それから10年、同社のビールづくりの根底には、存続の危機を救ってくれた地域への思いが流れ続けています。「私たちのお膝元である延岡、そして宮崎をいかに良い表現方法で外に発信していくのか。ひでじビールはそのツールの一つに過ぎません。私たちのビールを通じてたくさんの方に延岡、宮崎に興

味を抱いてもらい、足を運んでもらう。そうすることで地域が潤い、活性化していきます。そうすれば私たちのビジネスも上向きになるわけですから。そんな風にしてのものがWin・Winになることがなよりの理想です」と永野社長。

平成30年には、宮崎から九州へとその裾野を広げるため、九州産素材を最大限に生かしたビールを製造する「九州クラフト」という第二のブランドを立ち上げました。「地方は不利ではない、むしろこれから有利になる。そこをどう生かしていくかが私たちのテーマ」とさらに遠くへ視線を向ける永野社長。今日も、そしてこれからもひでじビールはお客様を、地域を笑顔にし続けます。



成長期待企業「(株)池上鉄工所」が製造した「オール地場産タンク」

ココがスゴイ! POINT

1
point

世界が絶賛! 世界最高賞を受賞

2017年に国内発売を開始した「栗黒」は濃厚な黒ビールにほのかに栗が香るビールで、2017年にイギリスで開催された「ワールドビアアワード（WBA）」の黒ビール部門で世界最高賞を受賞しました。

2
point

宮崎県産原料 へのこだわり

合理性・効率性の追求よりもビールづくりを通じた地域文化の醸成・価値の循環に寄与したいという考えから、国内産大麦の製麦（麦芽化）に取り組んでいます。「九州に一步入れればひでじビールだね!」と言われる、地域を象徴するビールを目指しています。

3
point

ビールを通して “地域”を ブランディング

美味しいだけでなく最高に楽しくビールを飲んで頂くために、観光・文化活動とタイアップした事業も進めていきます。観光ツアーや地域イベント運営などに取り組むことで、“地方のビールメーカーの新しいあり方”に挑戦していきます。

「地方から世界を見据えたビールづくり」

私たちが目指すのは「グローバル・クラフトビール・ブルワリー」です。グローバルとは、グローバル（Global:地球規模の、世界規模の）とローカル（Local:地方の、地域的な）を掛け合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する（Think Globally, Act Locally）」

という考え方を源としています。

その考えにもとづき、多くの仲間、お客様とともに、日本のビール文化をさらに花開かせたい。そのためにも、地方から世界を見据え、「地域と職人の手」で醸す、ひでじならではの味づくりを追究し続けていきます。

代表取締役

永野 時彦
Nagano Tokuhiko

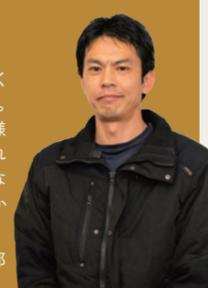
1968年生まれ [日之影町出身]

休日は農作業にこそしむ。その目的は「当社の事業とは切っても切れない縁」という農業を、身をもって感じ、今後の事業展開に生かすため。

Voice !!

この仕事の一番の魅力は、たくさんの方の笑顔に触れられることです。ビールを飲んでいただくお客様はもちろん、原料を生産してくれる地元の生産者さん。こんなやりがいのある仕事はなかなかないと思います。

ビール事業部



地元原料（大麦）にこだわった商品開発



地元原料（ホップ）にこだわった商品開発



地方から世界を見据え、世界が認めるビールへ



23 宮崎ひでじビール 株式会社
[業種] 飲料製造業

〒882-0077 延岡市行徳町747-58

TEL.0982-39-0090 FAX.0982-38-0080

代表：代表取締役 永野 時彦

資本金：300万円

社員数：17名（2021年5月末現在）

創業年：1996年



<https://hideji-beer.jp/>



防水工事の様子



北海道の畜舎遮熱塗装施工時の様子

ココがスゴイ! POINT

2 point
家庭でも
安心して使える

高い除菌性能
「ジアバルス」

農畜産分野をターゲットに研究を重ねた次世代活性次亜塩素酸水。塩や希塩酸を使わない「一液製法」なので、高い安全性と安定性を兼ね備えた商品です。



1 point
業界
シェアNo.1

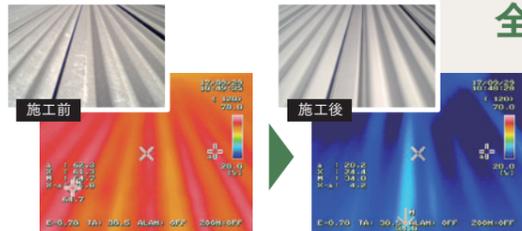
ファームバリア
全国5,000台以上の
ミキサー車に採用

生コン温度上昇抑制塗料「ファームバリア (NETIS (ネティス) 登録)」は、5,000台以上のミキサー車に採用されています。

3 point

畜産分野でも大活躍
畜舎遮熱塗料は
全国へ

宮崎だけでなく、隣県の鹿児島や酪農の本場である北海道など、全国の畜産家で採用されています。



遮熱塗料で畜舎屋根を塗装すると、開放畜舎の場合でも夏場の午後には1℃以上の温度上昇抑制効果を得ることができます。

当社の採用方針

学歴は不問で採用の審査をしております。何より「やる気」「人柄」「アイデア」を兼ね備えている方を、老若男女問わず募集中。小さな会社ですが、気の良いスタッフばかりです。新しい挑戦をしてみませんか?

「オンリーワンの事業創出と 新しいビジネスモデルの構築を目指しています」

防水工事業でありながら、成長期待企業に認定いただいた企業です。既存の事業は受注産業のために、リアルタイムな経済の影響を受けやすい事業だと感じています。

特に建設業は過剰供給構造の背景のもと、価格競争により利益の捻出が難しい業界です。弊社はそうした業界内においてオンリーワンの

事業創出と、経営革新計画に軸を据えた新しいビジネスモデルの構築を目指しております。これまで培った既存事業の文化を新規事業と融合させることで、技能の承継と社員の育成、福利厚生の充実にて秀でた企業として発展していければと思います、日々スタッフと試行錯誤しながら精進している企業です。

代表取締役
村社 英秋

Murakoso Hideaki

1974年生まれ [宮崎市出身]

頭の中で想像しながら三坪程度の小屋を図面無しで建てたりと、ものづくりDIYが趣味です。学生の頃に飼いだめたチンチラが大好きで、今は2匹のチンチラに囲まれて毎日癒やしをもらっています。

24 株式会社 宮防

[業種] 職別工事業

〒880-0911 宮崎市大字田吉1886
TEL.0985-53-1008 FAX.0985-53-1044

代表: 代表取締役 村社 英秋
資本金: 2,000万円
社員数: 18名(2021年8月末現在)
創業年: 1971年



http://www.miyabo.co.jp/



Voice!

自分の「やりたい・試してみたい」をどうやってビジネスにするのか、ということに挑戦できる職場です。技術部門においては国家試験があり、自分に目標を課して試せる企業です。

営業部



24 苦境をバネに一念発起 新たに開発した新事業

時代を読み開発した
遮熱塗料は幅広い分野に浸透
主軸の防水工事と共にさらなる展望へ



「ジァバルス」高い除菌性能でヒット中!



遮熱塗料「ファームバリア」

国内でシェアを拡大する遮熱塗料 ニーズに応じた次亜塩素酸水も開発

「宮防」が生み出す商材は、さまざまな分野で生産性向上への貢献が大きく期待されています。

地球温暖化が進み、各分野で暑熱対策の必要性が高まっている中、10年以上前から遮熱塗料開発に挑み「ファームバリア」を商品化。多くの場面での暑熱課題解決に取り組んで来ました。まず、「畜産王国でもある宮崎の役に立てれば」との思いから、畜産業の暑熱対策として畜舎の屋根に遮熱塗装し、畜舎内の温度上昇抑制、それによる畜舎内の環境改善や生産性の向上をサポートしました。さらに、その成果を細かに数値化して蓄積し、また、試験施工にも取り組んで、エビデンスをしっかりと提示することに努め、お客さまの満足度獲得、新たな販路拡大へつなげています。

「ファームバリア」は、生コンクリートでもシェアを拡大しています。生コンクリートは気温上昇による品質劣化が激しいため、ミキサー車のドラムを遮熱塗装することで生コンの品質劣化を防ぐことができます。「ファームバリア」は、生コン温度上昇抑制塗料として、国内で唯一、国交省NETIS(ネティス)に登録されました。また、同社が3年ほど前から開発・販

売する次亜塩素酸水「ジァバルス」は、農畜産生産者や農業法人が鳥インフルエンザや口蹄疫などに困窮する姿を目の当たりにして、「防疫対策」のために、強い思いで開発に着手したものです。特許製法「緩衝法」により次亜塩素酸水でも食品衛生法の「飲用適(飲むことが可能)」の基準に適合する安全性の高さが特徴です。さらに水産試験場・農業試験場・畜産試験場・宮崎大学農学部・工学部・酪農学園大学との共同研究の結果、高い除菌性能も兼ね備えていることが判明しました。そんな矢先に発生した新型コロナウイルスの感染拡大。発生当時、アルコールやマスクが不足し不安を抱く人も多かったことから「なんとか地域貢献ができないか」と事業方針を転換し、消費者向けに販売を開始しました。農畜産分野での研究にもチャレンジしており、国内では実験が難しいといわれている口蹄疫や豚熱への効果検証とその導入方法についても模索しています。

主軸事業として取り組んできた「防水工事」も大切に、時代が求める新事業と両立させることで、強い経営基盤づくりに取り組み、「さらに地元宮崎に貢献できる企業になるため、まい進していきます」と、村社社長は語ります。

25



コア技術は組立・検査。
ドアミラーなど多種多様



プラスチック成形工場



ロボドリルで航空部品を製造

ものづくりの経験、ノウハウ、 フットワークの良さで 顧客の満足度を高める

組立・検査をコア技術とし、
さらに調達力や樹脂成形、品質管理、物流体制まで
一括で対応できる高い総合力で、
多種多様な分野から厚い信頼を得る

「多様なニーズに対応する製造部門の「造り」
2つの強みで「強力な協創工場」を目指す

1990年に産業機械・機器・備品などの総合販売商社として創業した同社。1996年には自動車・通信機器・電子部品等の製造工場の分野にも進出し、「売り」と「造り」の分野を併せ持つ複合企業になりました。

「二つの機能を保持して、企業力の強みを発揮していることが当社の特色です。おかげで急速な価値観の多様化や市場のグローバル化の中でも、お客様のニーズと満足度の確に捉えることができ、正確・迅速・安心を追求するフットワークのある企業づくりに向かって前進しております。」と森田社長、同社

のもう一つの強みは、金型製作から部品製作、組立・検査、品質管理、そして物流から部品調達までの一貫体制を構築していること。さらに設計開発機能を新設して一貫体制の幅を広げ企業力を充実・拡大して、信頼を高めることで多角化運営を目指しています。

近年では、主力の自動車産業、航空機産業にとどまらず、半導体関連、食品、医療産業にも進出しています。

多種多様な分野に対応できる訳は、これまでのものづくり経験とノウハウを活かしてお客様のニーズに応えた提案を行い、チャンスをつかみ、チャレンジし続ける「ものづく

りのエキスパート」としての存在感があるようです。

また、経営環境がどのように変化しても社員を守る事が出来るよう経営基盤を強化。新型コロナウイルス感染拡大が多くの企業に負の厳しさを与えた中でも同社は大きな影響を受けず、着実に業績を保ちながら、ピンチをチャンスに変える事が出来る健全性も併せ持っています。

そんな同社は従業員をとっても大切にしています。「企業は人なり」「社員は宝」という信念のもと、すべての従業員がやる気と向上心を持って働けるよう、環境づくりに努めています。社員の日報に目を通し、交換日記のようなコミュニケーションを図って一人ひとりの声に向き合うことで、いざという時もチームワークを発揮して問題解決に取り組んでいます。」と、社長は話します。そして永年継続している「クリスマススイプの日」には森田邦宏会長がデコレーションケーキを手渡し、社員とのふれ合いを深めている「ことも社員の喜びにつながっているアットホームな社風です。」

社員と共に一丸となり「お客様のベストパートナーを目指して」というスローガンを掲げ、「モリタ」は成長し続けます。

ココがスゴイ! POINT

1
point

企業は人なり モリタは従業員を 第一に考えます

- ①従業員のやる気を大切にする。
- ②工場をきれいに働きやすくする。
- ③健康者も障がい者も同じモリタの従業員。全員が思いやりと働きやすい環境づくりに努力しています。

2
point

命を預かる気概 徹底的な品質管理で 自動車・航空部品 などを製造

自動車のエンジンコントロール部品や航空機のカスケードは直接安全に関連する重要保安部品なので技術と信頼が必要。従業員は、その品質管理まで任されている誇りと気概を持って仕事に当たっています。

3
point

設計から検査まで 一貫生産体制

プラスチック成形工場から組立ライン、クリーンルームまでを有しており、設計、製造、加工、組立、検査までを一貫で行えます。



県内唯一の「樹脂成形機650トン」を導入



営業部

Voice!

「明るく元気に」をモットーに、社員同士ひとつのチームとして仕事に励んでいます。どの部署も「やりがいを感じられる仕事」が動く喜びにつながっています。「人と人とのつながりを大切に」し、日々感謝の気持ちを胸に、お客様から信頼を得られるよう努めています。



クリーンルームを完備しあらゆるニーズに対応



部品組立ライン



定例生産会議



クリスマスケーキを手渡しし社員をねぎらう

宮崎経済の循環拡大に貢献

当社の「稼ぐ力」をより骨太にするために、県外企業からの取り引きの拡大や当社が「中核企業」となり県内企業からの仕入れを拡大させることによる地元の雇用促進など、宮崎県経済のさらなる循環拡大に貢献できるように成長と進化を遂げる取り組みを進めてまいります。

代表取締役社長

森田 尚孝

Morita Naotaka

1968年生まれ [宮崎市出身]

座右の銘は「脚下照顧」。趣味はマラソン。

野球で培った「チームプレー」。

社員とのコミュニケーションを図る上で大切にしています。





緻密で繊細な作業も多くチームワークで作業を進行

高い技術と培ったノウハウを活かし 溶接・切削加工が難しい特殊金属を手がける

技術を高め合う働きやすい職場環境で
チームワークの良さを「ものづくり」に投影



女性技術者も3名在籍



高度な技術を駆使し、
チタンを加工して作られた製品

技術と知識を高め合い、 特殊金属の溶接・加工を可能に

1945年、旭化成の終戦後の復興工事に携わるため、配管職人だった創業者（現社長の祖父）が、数人のグループを作り起業したのが森山工業の始まりでした。その後、前社長（現社長の父）が大学生時代専攻していた英文学を学ぶ中、海外の金属にまつわる文献から「チタン」に辿り着いたのがきっかけで、1962年に初めてチタン溶接を手がけることに。当時は、切削や溶接が難しいといわれる金属で、国内でもチタンの加工を行っていない企業はほばない中、外国から取り寄せて知識を深め、技術を磨き続けてきました。

今では、チタンだけでなくニッケル、タンタル、ジルコニウム、スーパーステンレスなどの特殊金属の溶接や切削加工技術を得意とし、全国からその高い技術力が認められています。

現在は主要取引先である旭化成や大手化学メーカーのプラント機器製作を主力業務とし、チタンの塩水に強く錆びにくいという特性を活用した電解槽の製作などを行なっています。世界トップのシェアを誇る旭化成の電解槽を通し、森山工業で作られている製品は世界各国の化学工場で使用されているのです。他に

も、全国各地から難しい特殊金属を使った製品製作の依頼が舞い込んでいます。

社員のほとんどがチタンも扱える溶接技術者（31名）で、女性技術者、海外からの技能実習生も在籍しています。先輩や後輩、性別や国籍も問わず、分け隔てない和やかな雰囲気の中で、惜しみなく技術を教え合うことで、新人社員も好奇心を持って学び、世界に通用する「技術の向上」を徹底的に追求しています。また、一人ひとりが持っている技で互いに支え合う強い信頼とチームワークを、より良い製品づくりに投影しています。これらが、国内外から高い評価を受ける、森山工業の「技術力の高さ」の原点です。

仕事にまつわることはもちろん、働く環境について、社員からのさまざまな意見に社長自ら真摯に向き合い改善するなど、働きやすい職場の雰囲気づくりに余念がありません。「地元の若い人が働きがいを感じられるよう人材育成にも力を入れていきたいですね。また、コロナ禍でストップしていた「海外での工場展開」にも再びチャレンジしたいと考えています。弊社の高い技術を海外にもっと広めたいです」と、森山和真社長は、笑顔で話します。

ココがスゴイ！ POINT

2 point アブレシブ ジェットカッター (ウォータージェットカッター)

超高压の水と研磨剤の力により、金属のみならずゴムやプラスチックなどあらゆる素材の高精度切断が可能です。



1 point チタン溶接技術

溶接技術者31名中28名（女性3名）がチタン溶接技術者（JIS Z3805）です。厚さ0.1～100mmまでの難易度の高い特殊金属の溶接が可能です。

3 point 特殊金属の 切削技術

難加工金属のチタンやニッケル等の旋盤切削による加工技術を、長年蓄積したノウハウとIT技術を融合させ自動化を実現しました。ITを利用した設備の自動化を積極的に推進し、高精度で効率性の高い生産体制を築いています。



工場チタン製プラント機器を製作中



技術者同士で丁寧に作業を進めていく



自動化を可能とする最新設備

「年齢、性別、国籍にとらわれず、 互いの強みを生かすものづくり」

「実直に徹する、全員で豊かになる」を基本理念として、実直に良い製品をお客様に提供することで、社員と家族、地域社会など関係する全てのステークホルダーが物心共に豊かになれる会社を目指しています。また、年齢、性別、国籍などにとらわれず互いの強みを活かした、働きやすく生産性の高い職場を目指しています。

代表取締役

森山 和真

Moriyama Kazuma

1971年生まれ [延岡市出身]

趣味：読書、海外旅行
座右の銘：curiosity (好奇心)



全員が仲良く、明るく仕事ができる社風です。難易度の高い製品に丸となって取り組むチームワークも弊社の強みです。

製造グループ工場次長





生揚げ醤油を全て自社で生産加工している



地域に根ざした商品開発



いつまでも変わることはない美味しさ

ココがスゴイ! POINT

1 point 地域に愛される
定番商品

高千穂峡つゆ

九州圏内ストレートつゆで常に売り上げ上位にある商品です。近年は本州でもジワジワと販路を広げています。海外でも今後注目されるでしょう。



2 point

ISO22000
(食品安全マネジメントシステム)
認定取得

高品質な商品開発力

お客様へ、より安全な商品をお届けすることを目的にしょうゆのJAS認定、ISO22000を認定取得しています。そのため、海外展開も視野に入れた商品開発・提案が可能です。求められる要望を可能にするオーダーメイド調味料をつくる開発力があります。

3 point

味噌醤油製造

生産量は県内最大

霧島伏流水を使用した味噌醤油を製造しており、生産量は県内最大です。これをベースに様々な調味料も製造しております。



150年の歴史と伝統を誇る



海外でも認められる高度な開発力

伝統の技術と 高い商品開発力

150年の歴史と伝統を誇る醤油・味噌づくり
伝統を守りつつ、技術を生かした商品開発で、
全国や海外にも販路拡大



地域資源を活かした商品

製造技術の応用で求められる商品開発に注力

1871年に創業したヤマエ食品工業。水と自然に恵まれた都城市で、こだわりの原料を使った味噌醤油の製造を行い、日本の食を支える貴重な存在として発展してきました。伝統の味を守りながら、新しい設備導入も行っています。原料から生揚げ醤油を製造できるように、醤油麹を製造する装置を備え、業務用商品をパックする最新の充填機を導入するなど、生産性や品質管理向上に努めています。伝統の味を守りつつ、新しいことにも果敢にチャレンジしています。開発部を設け、新商品を生み出す努力を怠りません。地元の素材を使った「空飛ぶ玉ネギドレッシング」や明治時代の薩摩自家製の味噌を再現した「西郷どん味噌」などのユニークな商品も話題となりました。中でも『ヤマエ食品工業』の夏の看板商品となっているのは、県内外で販路を広げている「高千穂峡つゆ」。年々出荷数を伸ばし、九州地区ストレートつゆ部門でトップクラスの人気を誇ります。全国、さらには海外でも注目度が高まりつつあります。長年引き継がれている味噌醤油の製造技術に応用した、洋食向けソース類の開発などにも取り組んでいます。家庭の食生活の変化に伴い、醤油・味噌の消費が



海外向けイチオシ商品

減る中、業務用商品への展開をチャンスと捉え、チキン南蛮や生姜焼きなど食肉業務用のタレにも力を入れるほか、畜産、水産、レストラン、コンビニエンスストア等の要望に応える商品開発にもより熱が入ります。高い商品開発技術を生かし、お客さまのオーダーに合わせた調味料の製造は需要が高まるばかりです。近年の日本食ブームも追い風となり、アジアを中心に輸出も始まりました。今後はアメリカ、ヨーロッパ諸国への輸出も強化していくとし、新たな展開が期待されています。

地域貢献に努め、 若者が活躍できる社風を目指す

我が社は地域の豊富な食材を使用した商品を開発し、引き続き、県外そして海外へ販路を広げて地域貢献に努めて参ります。また、社内改革を進めながら、定期雇用を行い次世代の若者の活躍の場となるよう、風通しの良い社風を目指します。

代表取締役社長

江夏 喜一郎
Enatsu Kichiro

1942年生まれ [宮崎市出身]

単身勤務が長かったこともあり、料理が得意。和食から洋食までレパートリーは広く、好きな日本酒に合う料理の他、ヨーグルトも作る。毎朝40分ほどの散歩で健康管理にも気を遣っている。



代表取締役専務

Voice !!

社風は穏やかでアットホーム。入社して基礎から学ぶことができ、自分の思いが形にできる会社です。醸造の基礎を一緒に学びました。





山とともに70年 先人たちの想いは不滅

「山」という原点に立ち返り中山間地インフラの新たな守り手へ
宮崎県土の76%を占める
山間部地域に潜在化していたニーズを見出し、
森林土木工事と林業という異なる世界を融合させた独自技術で、
新たなステージを目指す

平成30年度国有林間伐再造林推進
コンクール「優秀賞」

28



港湾工事



高い技術力を持った技術者が多数在籍

ココがスゴイ! POINT

1
point

森林土木業における 高い技術力

急峻な地形の山奥で行う森林土木工事は
難易度が高いと言われています。
木材の切り出しに必要な林道の開設や山を守る
ための治山事業にて実績を重ね、林野庁、
宮崎県から表彰を受けている技術者
が多数在籍しています。

2
point

林業へも進出

森林土木工事業だけでなく、その関連
産業である林業も同時に行えます。
林業の高生産性設備を保有し、
安全性、スピード、効率性を
重視しています。

3
point

トンネルや 長大橋梁など 大型工事の豊富な 実績

河川工事、港湾土木工事など、高度な工事
にも挑戦し、現在では相応の技術
を要する長大橋梁工事にも
実績があります。



県知事賞受賞現場



送電鉄塔敷地保全工事



高生産性設備による林業

当社の採用方針

土木建設業、林業に興味がある方を
新卒、中途問わず、お待ちしております。
入社後は会社負担にて土木、
林業それぞれの専門学校に入学し
ていただきますので文系の方や女性
の方も歓迎します。

山を守りながら中山間地のニーズに応える

私の父である初代社長が、終戦後の郷土の
荒廃に心を痛み、土木業で復興に貢献しよう
との思いから森林土木事業を手始めに今年70年
を迎えております。

戦後の復興期に住宅や建物を構築する為に多
くの木材が必要となり、その材木を搬出する林道
工事に携わりました。また、山を荒廃から守る為
に治山事業も同時に行ってきました。

宮崎県土の76%を山林が占めております。こ
れらの中山間地は、人口減少、高齢化など課題
を抱えておりますが、自然災害の防災、減災
や水源涵養などなくてはならない存在です。

弊社はこのような中山間地に潜在化していた
ニーズを見出し、働く場を作り、人材を育成して
いくことでさらなる成長ができると考えており
ます。

代表取締役社長

山崎 司

Yamasaki Tsukasa

1955年生まれ [延岡市出身]

総合建設業の他、石油事業を通して災害に対応できる体制をつくっています。
さらに介護施設「大瀬別荘G、H、(グループホーム)」を九州保健福祉大教授だった
妻を中心に運営させて頂いております。社員総数83名中、女性が3割を占めてい
ます。女性職員の雇用を5割まで増やしていきたいと考えております。

「山」で培ってきた技術を未来に繋ぐ責務
林業事業を機に自社ブランディングが進み、営業範囲拡大

昭和26年の創業以来、林野庁の森林土
木工事で培った技術をベースに国土交通
省や宮崎県が発注する難易度の高い公共
工事に挑戦し、トンネルや長大橋を手掛
けることで業績を伸ばしてきました。

次のチャレンジとして、公共工事への
比率の削減を経営上の課題とし、創業時
から脈々と培ってきた森林土木技術を高
く評価してくれる顧客を模索。そんな時、
大手電力会社の送電鉄塔建設における資
材搬入路の整備で、同社が有する最も経
験豊富な林道開設工事技術のPRに成功
しました。2014年から延岡市でも50
万ボルトの送電線新設工事が行われると
いう幸運にも恵まれ、森林土木技術を活
かした送電鉄塔の建設に携わることがで
きたのです。

林業には、高い安全性を求める大手電
力会社のニーズがあると考え、事業の新
しい柱として、2017年に林業事業部
を創設しました。大手電力会社の配電線
に架かる木々の伐採業務を手掛けると
もに、台風災害時の風倒木除去業務の緊
急依頼時は瞬時に出勤するなど、特に災
害対応での信頼が深まりました。同時に森
林土木工事と林業を一括して行える会社
として、ブランディングにも努めました。

その結果、県内各地のメガソーラーパー
ク建設時には、電力関連会社から林業と
土木工事一括での受注に成功しました。
中山間地でのダム環境調査業務や配
電線に架かる風倒木の撤去業務、送電鉄
塔基礎補強工事増加を見込んで、新たな
挑戦のため、2018年に木城支店を開
設。当初、同地域での人材確保など苦労も
ありましたが、信頼できる事業パートナー
に出会えたことで、年間を通じたインフ
ラの維持管理を軌道にのせることができ
ました。

「本来の支柱である土木工事は、3年連
続橋梁関係の工事で県知事賞を受賞する
など、高い評価を得ています。その分、高
度な知識や技能、自然環境相手の厳しい
職場条件など、社員は高いレベルが求めら
れています。中山間地インフラ維持管理な
どの新規事業の収益を、社員の生活を支え
てくれている家族の方に還元できるよう
に努めています」と、山崎社長は話しま
す。

ここ1、2年、大手企業から森林関連事
業のパートナーに指名されるなど問い合わせ
も増えており、「山」で先人が培った
技術を未来へ繋げる道筋が整いました。



Voiceli
地元の高校を卒業後入社し、社員として
1年間産業開発青年隊で勉強させて頂き
ました。現場代理人として災害復旧工事
の現場を初めて任せてもらい、沢から
流れてくる水の水替えに大変苦労しまし
た。改めて土木の仕事の大変さを実感すると
共に、現場が無事に終わった時の安心感
は忘れられません。 土木部



28 株式会社 山崎産業

[業種] 総合工事業・林業・その他小売業・介護事業

〒882-0073 延岡市具の畑町2903番地
TEL.0982-38-0001 FAX.0982-38-0567

代表：代表取締役社長 山崎 司
資本金：3,000万円
社員数：75名(2021年5月末現在)
創業年：1951年

一石二鳥の「笹サイレージ」 地域資源循環システム として普及中

竹・笹を原料とした「笹サイレージ」は
農畜産業の発展と放置竹林対策に貢献
新たな地域資源循環の仕組みを全国に広げたい！



「笹サイレージ」を畑に散布中



放置竹林対策に貢献



ローラー運搬作業



農家さんとの打ち合わせ

ココがスゴイ！ POINT

1 point

新たな地域資源循環 の仕組み 「笹サイレージ」

畜産飼料として開発した「笹サイレージ」でしたが、全国的に竹の発酵商品を肥料として活用する動きが見られたことから、都城周辺の農業者に肥料として提供したところ、根の張り、生育、糖度、収穫量などが向上したという声が聞かれました。そこで「笹サイレージ(竹・糖蜜・発酵促進剤)」の名称で、製造・販売をスタートしました。

乾燥

3 point

「バンブードライS」

養豚、養鶏等の畜産業者が使いやすい飼料にするため、笹サイレージや竹パウダーを乾燥する設備を導入し、開発。水分が減り、自動給餌器に詰まりにくい商品です。

2 point

「熟成フロンティア 笹活性化材」

“竹・笹パウダー”と地元焼酎製造企業が開発した“成熟発酵焼酎粕”とのコラボ。新しい土壌改良材「熟成フロンティア笹活性化材」を開発し、販売しています。

焼酎粕



笹サイレージ製造工場



伐採した笹を円筒状に固めた後、梱包し、発酵させる

当社の採用方針

当社は地域の環境保全に取り組んでいます。環境について興味のある人や、地域のために一生懸命になれる人を求めています。

「農家ファーストで取り組んだ結果が 良い結果につながっています」

放置竹林対策として開始した事業ですが、事業内容として前例のない中で、成長期待企業に採択いただきました。県の各機関、大学等のご協力により畜産、園芸分野でのエビデンスが相当数そろってまいりました。

弊社は、良質な商品を開発製造し、畜産での肉質向上や園芸での収穫量向上、各生産者の所得向上に寄与する「農家ファースト」が、地

域経済発展に繋がるとの思いで当事業に取り組んでおります。

当事業で製造された商品により、農畜産現場で次々と良い効果を出してきています。今後、農畜産業での利用拡大が進むことで、放置竹林の伐採事業も加速的に推進できると考えております。農家を下支えする立場として、弊社の成長も加速させてまいります。

代表取締役

田中 浩一郎
Tanaka Koichiro

1969年生まれ [都城市出身]

座右の銘は「一念天に通ず」。趣味は海釣り。社員の約半数も釣りが趣味で、中にはボートを購入した社員がいるほど。年末には釣った魚をそれぞれがさばき皆で楽しむなど、趣味を通して社員と交流しています。

同社は2005年に石油関連の地下貯蔵タンクや地下埋設配管の点検・メンテナンス業務を行うことを目的に創業しました。その後、点検作業で使用していたダンプカーを活用し、「のこず」の製造と販売を始めました。畜産敷料として使われる「のこず」は、牛・豚・鶏を大規模に飼育する農業者に販売し、南九州一位の出荷量を誇ります。しかし、バイオマス発電向けの需要供給増加により原料である木材が高騰したため、竹チップの製造を行い販売をスタートさせました。そして新たな事業を模索。農業者との関係構築が進む中、宮崎県畜産試験場が飼料自給率を高めるため竹パウダーを乳酸発酵させて牛の飼料として開発した研究成果を実用化し、さらに飼料だけでなく肥料にも使用できる商品「笹サイレージ」を開発・量産する取り組みをスタートしました。竹の伐採用機材や細断型ローラーベラー、ラッピングマシンなどを導入し、全国初の量産化施設も開所。2016年にはオリジナルの梱包システムで特許を取得しました。

この「笹サイレージ」を半年間与えた肥育牛の実証実験では「実験した12頭のうち10頭が4等級、2頭が5等級」という優秀な結果に。都城市高城町のブランド豚「観音池ポーク」でも実証実験を行い、おいしさの目安として注目されるオレイン酸の値が上昇するなど畜産界での手応えを得ました。

また、畜産だけでなく、耕作や園芸分野での利用も進んでいます。地元焼酎製造企業が開発した成熟発酵焼酎粕とのコラボにより、土壌改良材「熟成フロンティア笹活性化材」を開発し販売。作物の成長促進に期待できるとし、実際に利用した生産者によると、「収穫量が増えた」「粘りが良く糖度が増し、おいしい野菜ができた」などの声も聞かれています。また、利用する生産者のPRに力をいれ、農畜産業のサポートにも取り組んでいます。

同社は令和2年6月に都城市と、さらに12月には三股町と包括連携協定を締結しました。地域の放置竹林を無償伐採し地域の環境対策に貢献するとともに、資源の有効活用、地域の活性化などを図っていきます。田中社長は「笹サイレージの普及を進めることで農畜産業の発展と、年々増え続けている放置竹林解消の両方に寄与できる地域循環の仕組みを各地に広げていきたい」と、全国への普及を目指しています。

農地や里山の荒廃を招く「放置竹林」の竹・笹をフル活用
農畜産業に貢献する飼料・肥料として高い評価を得る



若い人から年配の社員まで皆が仲良く、明るく楽しい雰囲気
の社風です。上下関係なくア
ドバイス合うなど、仕事にも活
かされています。

飼料・肥料事業部



29 大和フロンティア 株式会社
[業種] 木材・木製品製造業

〒885-0042 都城市上長飯町2416-5
TEL.0986-21-0151 FAX.0986-21-0135

代表：代表取締役 田中 浩一郎
資本金：1,000万円
社員数：19名(2020年12月末現在)
創業年：2005年



<https://www.yamato-frontier.co.jp/>



「木」を余すことなく「価値ある商品」へ

山の恵みに感謝し 木を余すところなく使い切る

植林から製材加工まで行う完全一貫生産体制
木質バイオマス発電などエネルギー転換も拡充



山の恵に感謝「植林祭」



2021年春に完成した、安定供給の要「戦略倉庫」

最新鋭設備を投資し、エンドユーザー視点を重視

1946年、現社長の祖父が「故郷の資源を活かして戦後復興を」と、串間市で創業したのが同社の始まりでした。造船材、住宅資材の供給で戦後の復興を支え、豊かな森林資源と広大な敷地を活用し、国内有数の製材工場に発展しました。

植林から伐採、搬出、製材加工までを行う完全一貫生産体制を構築し、宮崎の特産品「鉄杉」を主な原料として、一般製材品から人工乾燥材や集成材、そして全国的にも珍しい縦継材（フィンガージョイント）のための最新鋭設備群を有しています。

- ① バイオマス発電所をグループ内に整備、木材資源を発電燃料及び木材乾燥熱源へと多面的に利用。
- ② 原木の集約効率／ロジスティックコストの低減及び、選別ストック機能の拡大を狙った構内の土壌造成計画。
- ③ 木材製品の安定供給の要「戦略倉庫」の新設計画が進行中。

これらの設備投資計画は、前述の市場要求、要するにマーケティングとの完全連動を反映しています。

近年の取り組みとして、技能実習生への労働力依存から脱却し、省力化設備投資と人材育成強化、それに伴う全社組織への改定を進めています。人材育成として、職種に応じたキャリアアップ支援を軸とした独自の教育プログラムを構築しています。また、それを継続的に先鋭化する人事評価制度と連動させて展開しています。

各地の先人たちが育んできた「林業」を尊重し、山の恵みに感謝し、木を余すことなく「価値ある商品」へ転換して提供することが、「吉田産業」の理念。そして、森林資源の循環を担う企業として、この想いを次世代に引き継いでいく必要があります。熟練技術者の技を伝承し、若い世代を育てていくことを大切に、新たなチャレンジを続けます。



ココがスゴイ!

POINT

1 point

地球環境 & 地方創生貢献

CO2削減による地球環境保全、多様な地域人材活躍の場の提供、これらは同社のSDGs取り組みの柱です。

2 point

時代変化への対応力

少子高齢化、地方からの人口流出などの時代変化に対し、設備投資や諸社内制度改革を行いマッチングさせ続けます。

3 point

IT推進室を設置し「IoT技術」を業務に応用

- ITを推進するため専任部署を設置。
- ① スマホ支給やLINEworks導入による業務合理化
- ② 諸クラウドサービス活用による業務の高度化
- などを次々と進めています。



熟練技術者の技を伝承し、若い世代を育成



当社の採用方針

年齢や性別、学歴に係わらず、キャリアや能力に応じた職種・組織役割をアレンジする、いわゆる適材適所を基本に社員視点での福利厚生充実化に取り組んでいます。具体的な採用に関する情報は是非、公式SNSをご覧ください。

吉田産業株式会社

facebook



郷里を歩む仲間と共に、 地方の良さを最大限に活かしたい

「地方には地方の良さがある。地元企業としてその良さを最大限に活かす努力を、我が社は惜しみません」。

昨今、若者の県外流出や全国比での賃金相場の低さなど、我々が住む宮崎県には課題もありますが、だからこそ我々の郷里に

ポジティブな要素の再発見や深掘り、そして新たな価値創造が我々の使命なのだと思っています。

そしてそんな我社と共に郷里を歩む仲間の輪を広げていきたいと常に考え、行動し続けています。

代表取締役

吉田 利生
Yoshida Toshio

1969年生まれ [串間市出身]

年長さんの子どもと、8歳になる迷い猫の子育ての日々。
座右の銘は「意志あれば道あり」。



「温故知新」。製材業として、先人から受け継いだ森林資源を慈しみ、そこに新たな価値を与える手段として、新しい技術や考え、そして創意工夫を活かす楽しみが存分に味わえます。

経営企画室 猫部長



のりものシリーズ



子どもに大人気のエア遊具

日本最大級の 遊具保有数 ニッチな市場 No.1へ

現状に満足することなく高い企画力で
遊び心あふれたオリジナル商品を
全国に発信



若手の発想力を武器に 年間50アイテム以上をリリース

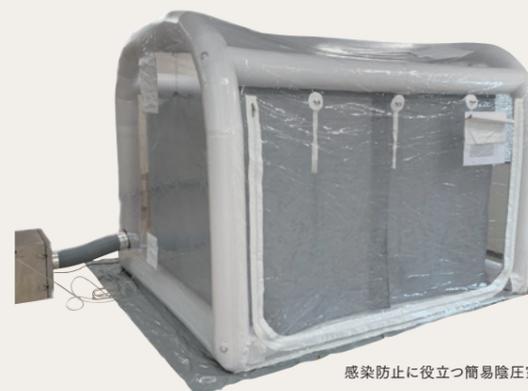
子ども向けイベントアイテムのレンタル・販売を行っている『ワン・ステップ』。エア遊具を始め、のりものシリーズやAR（拡張現実）を使用した新感覚アトラクションなど子ども向けイベント遊具の保有数は日本最大級を誇ります。

学生時代、宮崎市中心市街地でチャレンジショップを開業した山元社長。しかしうまく軌道に乗らず、「競合が少ない業界で成長し続けるサービス」に目を向けます。模索し続ける中、ある観光施設で使うイベント遊具の提供を依頼され、自身で選り抜いた「子ども向けバッテリーカー」を提供し、高い評価を受けました。これがイベントアイテム事業のきっかけとなり、2002年、『有会社ワン・ステップ』創立に至りました。

主力のエア遊具だけでも300種類を揃える同社。保有数は800種以上です。今、特に力を入れているのが若手社員による商品開発だといいます。「実際の遊具利用現場から得た顧客の意見を吸収し、機能性・安全性共に優れた遊具を次々と生み出しています。最近ではホームセンターなどに弊社ブランドの商品が並ぶまでに成長しました」と山元社長。

同社のもう一つの強みがきめ細やかなサポートです。「サポート体制が万全であることで、イベント現場の運営がスムーズになりトラブルも減る」と、ホームページには遊具の設置方法や運営時の注意などの動画を掲載するなど、初めてのお客様も安心して利用できるような工夫がなされています。

2020年はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、本業のイベント需要が激減したのですが、そこで手をこまねいているだけではないのが同社。これまで培ってきたエア遊具製造技術のノウハウと商品開発力を活かし、感染防止のために有用な機器として簡易陰圧室の開発に取り組み、新たな市場開拓を行っています。



感染防止に役立つ簡易陰圧室

ココがスゴイ! POINT

2 point 商品開発力

年間50アイテム
以上をリリース

エア遊具開発のノウハウを活かして、感染症対策機器などの開発にも取り組んでいます。その他にも年間50アイテム以上の新商品をリリースするなど、開発力には自信があります。

1 point 遊具なら
おまかせ!

保有数
800種以上

エア遊具から、乗り物、VR・AR等のアトラクション遊具まで幅広くラインナップ。その保有数は日本最大級です。

3 point

若手中心の機動力
平均年齢28歳

社員の平均年齢は28歳。新卒採用を中心に据え、若手が活躍する会社です。社内での勉強会・積極的な社外研修を組み合わせ、人材育成に力を入れています。

社員の成長が会社の成長につながる

若い社員を中心に毎年、着実に成長してきました。社員の成長が会社の成長につながるという考えで取り組んでいます。研修制度の充実、若い社員にも出来るだけ多くの経験を積んでもらいながら、「小さな市場で日本一」を目指します。

代表取締役社長

山元 洋幸

Yamanoto Hiroyuki

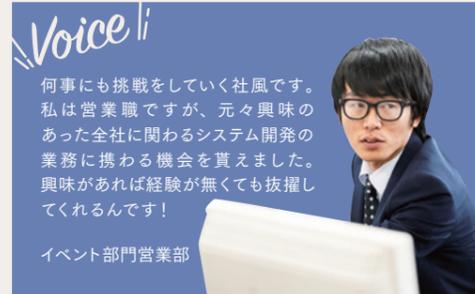
1977年生まれ [大阪府出身]

宮崎大学農学研究科修士課程修了。

2017年九州ニュービジネス協議会アントレプレナー大賞受賞。

現在、エア遊具開発のノウハウを活かし、感染症対策向けのエア式簡易陰圧室をリリースするなど新規市場開拓に取り組み、業績回復を目指している。

座右の銘は「出来ることは全部やれ。やれるなら最善を尽くせ」。



Voice li
何事にも挑戦をしていく社風です。私は営業職ですが、元々興味のあった全社に関わるシステム開発の業務に携わる機会を貰えました。興味があれば経験が無くても抜擢してくれるんです!

イベント部門営業部



年間50アイテム以上の商品開発



若手が活躍する会社です!



きめ細やかなサポート体制

